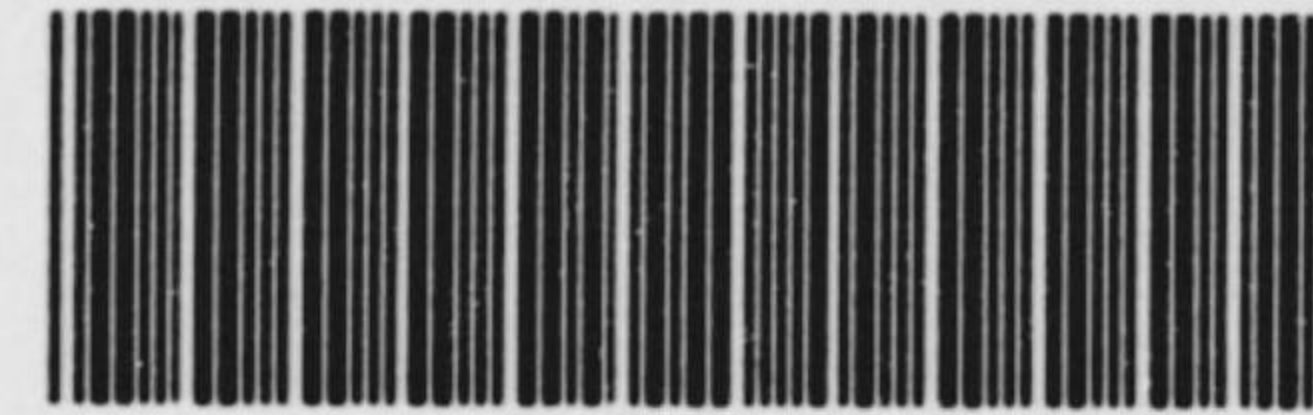


新
歐
洲
の
初
光
明

朝日新聞社編



* 0 0 0 0 8 3 9 0 0 0 *

0000839-000

302. 3-A82ウ

新歐洲の黎明

朝日新聞社

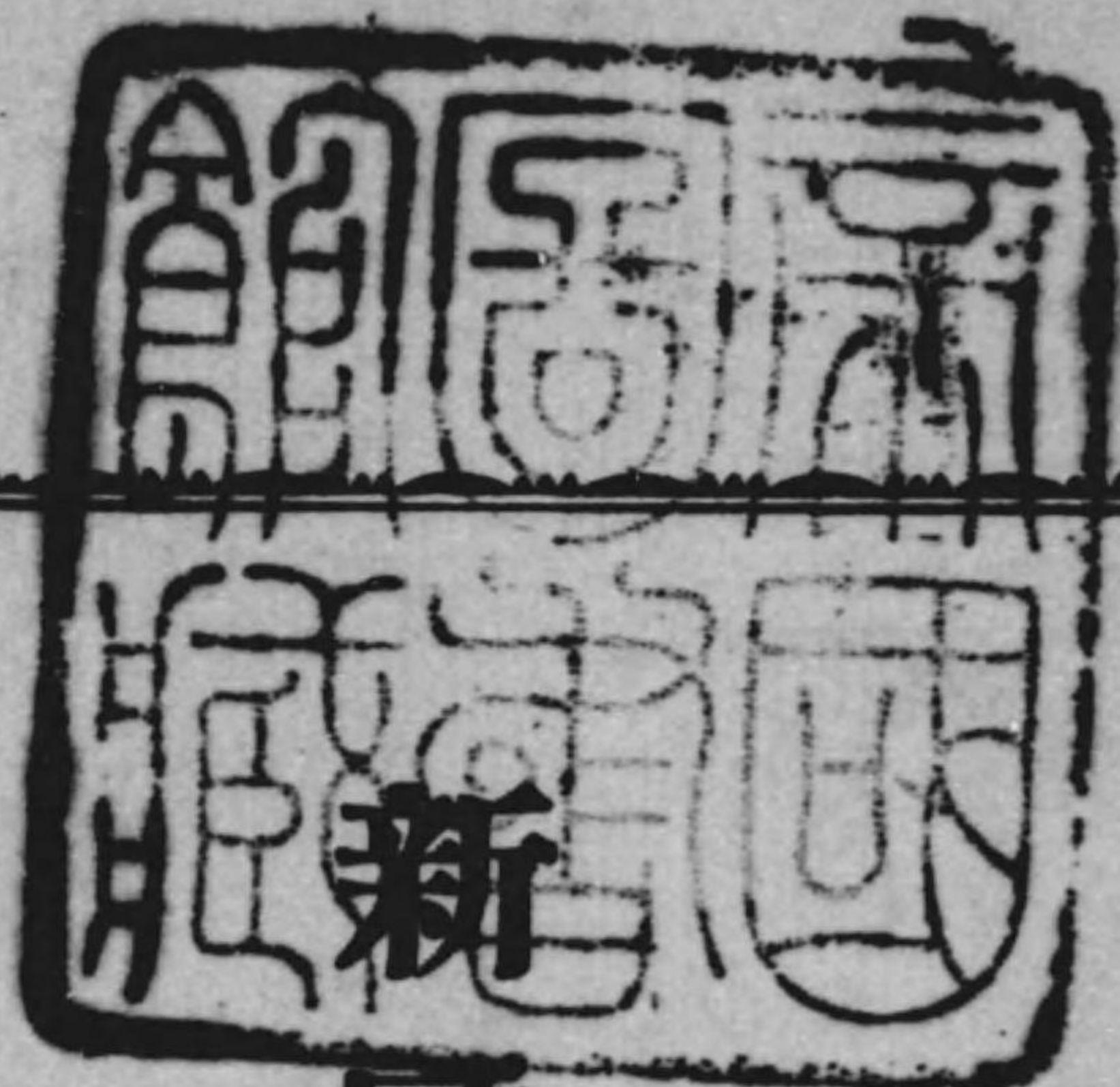
昭和15

AAB





302.3
A82



新
歐洲の黎明

朝日新聞社發行

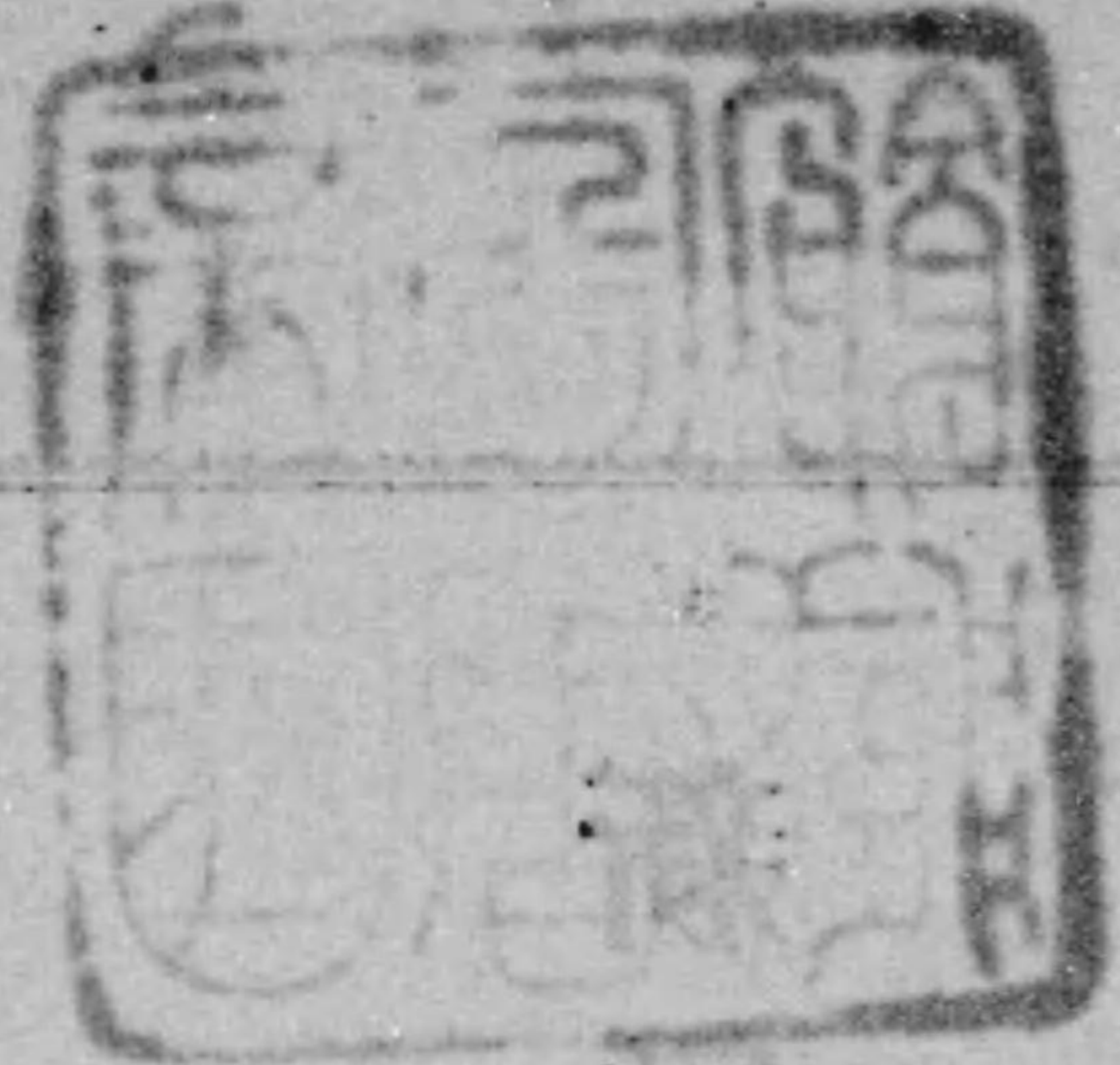
發行所寄贈本



202



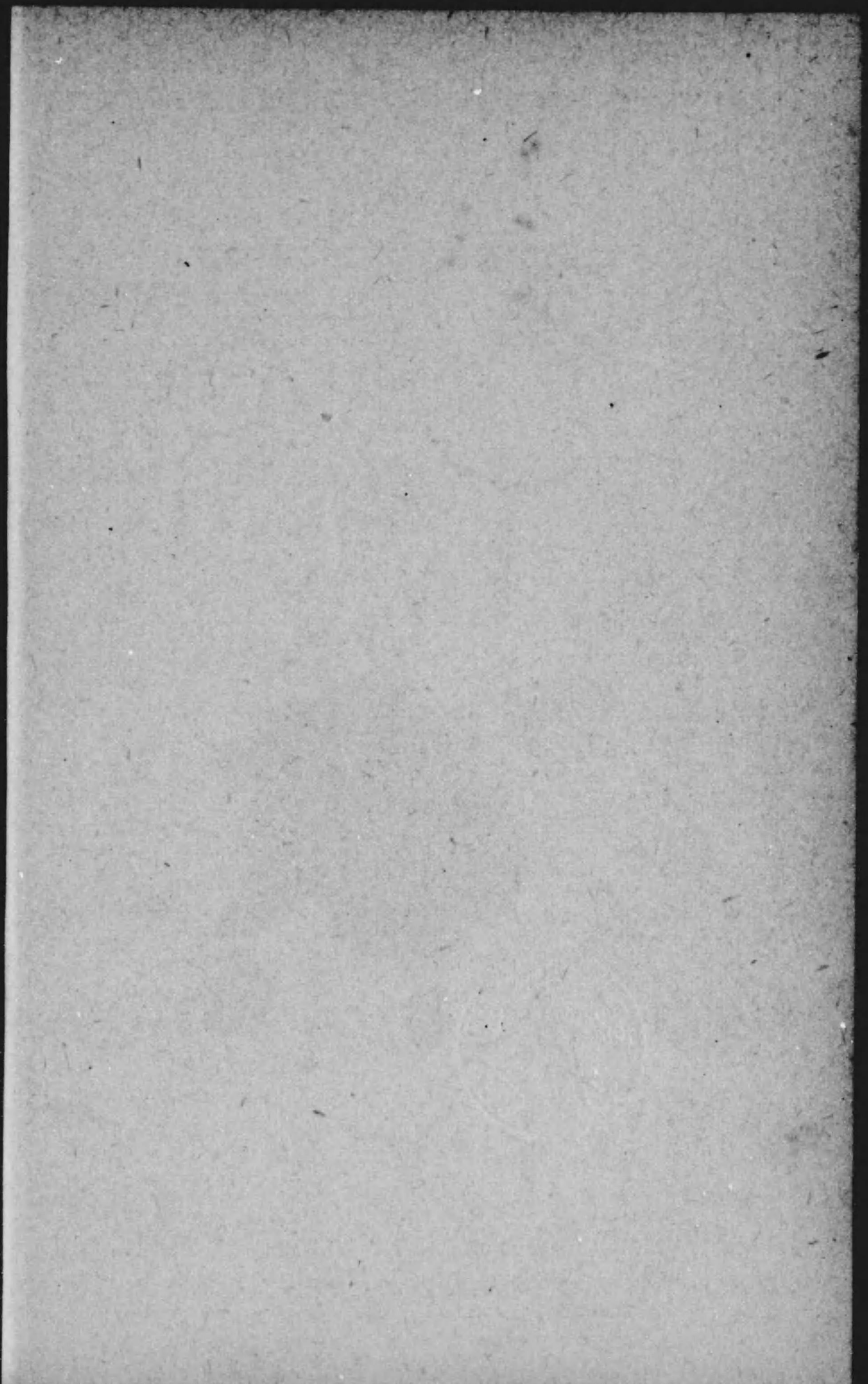
前大戦後のドイツ
 (この図は戦前と戦後のドイツの境を比較して示す)
 ●ドイツ領土の縮小
 ○ドイツ領土の拡大
 △ドイツ領土の併合
 □ドイツ領土の分割
 ○ドイツ領土の併合
 △ドイツ領土の分割
 □ドイツ領土の併合



戦後世界の地図

戦後世界の地図







は し が き

ドイツのポーランド出兵は昭和十四年九月一日、英、佛の對ドイツ宣戰布告は同三日であつた。今や開戦以來一ケ年を経過してゐる。朝日新聞社は歐洲情勢急悪化の大勢を推察し、事前すでに各地歐洲特派記者を増加してゐたが、大戦勃發と共に、さらに多數の特派員を各地に急増派して、各國內事情の調査、戦争情況の報道に従事せしめた。

本パンフレットは、これら特派員中一部の者が、去る八月十一日ベルリンに會同して行つた座談會の筆記であるが、出席者はいづれも朝日新聞社内の錚々たる記者であつて、その知識、經驗は座談會の内容に最も適應せる人物のみである。

守山記者は大阪本社社會部出身、支那事變には逸早く從軍記者として前線に馳驅してゐた。ドイツ語に堪能で、ベルリン特派員に任命され大戦勃發の約一年前着任、ポーランド戦線、西部戦線共にドイツ軍に從軍し、パリ入城は邦人記者として第一番であつた。石山記者は大阪本社經濟部出身、インドより近東方面の視察をなしたる後ギリシヤ、イタリヤを経てドイツに入つたもので、その經濟方面における識見は、新體制の歐洲經濟情勢の徹底深刻なる解釋及び批判に十分活用されてゐる。渡邊記者はフランス語の外數ヶ國語に通じて居り、以前本社留學生としてフランスに滞在してゐた。大戦より數年前平時パリ特派員として派遣されて現在に至つたものである。その該博な知識と多年のフランス生活體驗は蟄伏フランスの眞情勢を語るにふさはしい。前田記者は數ヶ年前より本社記者としてローマに滞在して居り、イタリヤのフアツシヨ政治には

最も精通せる人物であり、イタリヤの新國際地位に對する洞察は聽くべき多くのものを示唆してゐると思はれる。河野記者は、東京本社政治部の練達記者で、支那事變中大陸における政治記者として活躍したこともある。始めロンドン特派員として渡英、後ワルソーに移つたが、大戦勃發し、ワルソー陥落に逢着して、ポーランドを脱出、爾後、ルーマニヤ、ブルガリヤ、ギリシヤ、ユーゴースラヴィヤ、イタリヤ等に滞在、ヨーロッパ紛亂の坩堝たるバルカン特派員として活躍してゐる。

以上五名の記者達はいづれも傑出せる觀察力と咀嚼力とを把持する達能の士である。これらの人たちが、紛亂の歐洲現地から遙かに故國に寄せ來れるこの座談會筆記は、緊迫せる國際情勢に多少とも關心を持たるゝ知識人にとつての一大炬火として、情勢判斷に資するところ多いと確信する。

本パンフレットの座談會は八月十一日より二十二日まで十二日間に亘つて十回に行はれた。従つて、ドイツの對英敵前上陸その他について、その後の情勢と多少の喰ひ違ひのある場合があるが、談話は如實にその當時の情勢と逼迫せる気分とを反映してゐるものであるから、わざとそのままに残しておいた。この種の些少の喰ひ違ひは、他の問題についても皆無とは言ひ難い。讀過途上において適宜御留意下されたいと考へる。

昭和十五年九月

朝日新聞社出版局

第二次歐洲大戰勃發以來一年、今やドイツはその盟邦イタリヤと手を携へて歐洲の殆ど全土をその支配下に威壓し、ノルウエー、デンマーク、オランダ、ベルギー、フランスの對英海岸線をその占領下に收めて、いよいよ大戰の終局目標たる英本土攻略開始の段階に突入した。獨伊果して對英電撃作戰に出るか、謀略戰を強化するか。嵐を孕む歐洲の天地は今やドイツの新作戰如何を繞つて戰々競々たる有様である。この時われわれ歐洲特派員五名は八月十一日日本社ベルリン支局のあるホテル・カイザーホーフに集つて座談會を催し、過去一ケ年にわたるそれ／＼の見聞と調査とを持ち寄り、ドイツを中心とする歐洲大戰の今後の展開、及びドイツの歐洲統治に對する理想と實際、いはゆる歐洲新秩序の政治、經濟の體制如何を検討し、最後に歐洲新秩序と東洋との關係、特に日獨提携協力の將來につき意見の交換をとげた。

以下はこの座談會の詳細な筆記である。西に歐洲大戰あり、東に支那事變あり、この間に介入して漁夫の利を覘ふ米、ソ聯の策動あり、世界を擧げて混沌たる情勢裡にあつて、現地に歐洲新體制の進行を認識しつゝあるわれ々の報告及び卑見が、故國日本の讀者諸子に、多少とも参考になるならば幸甚である。なほ座談會出席者は左の五名であつた。

- | | | | |
|---------|-------|--------|-------|
| ベルリン特派員 | 守山 義雄 | 同 | 石山慶治郎 |
| パリ特派員 | 渡邊紳一郎 | ローマ特派員 | 前田 義徳 |
| バルカン特派員 | 河野 健治 | | |

目次

對英總攻撃近し	一
全歐の期待緊張	一
對英進撃作戦如何	九
敵前上陸か、落下傘部隊か	九
敗殘の英國は何處へ行く	一六
獨の政治經濟は英を壓倒	一六
歐洲新秩序と米ソ	二四
無視し得ぬ日本の存在	二四
佛國は再起出来るか	三一
ドイツの占領地統治策	三一

豫想さるる「新體制」

獨伊中心の新經濟組織……………三九

新體制の經濟的側面

東亞にも當然關聯……………四五

世界の顔は變る

大、小國の轉變、興亡……………五四

油斷ならぬソ聯

勢力擴張は必至……………六四

文藝の動向を測定

ドイツ文化の歐洲制覇……………六九

積極的外交策を實行せよ

機會を逸するな……………七二

對英總攻撃近し

歐の期待緊張



守山

去年の夏、ロンドンで座談會をやつた時には一年後にヨーロッパが眞逆こ

んなことにならうとは考へられなかつた。戦争の中に卷込まれてお互に苦勞を重ねたが幸ひヨーロッパ人の流れ弾にも當らずこゝに元氣な顔を合せることが出来たのは嬉しい、ロンドンの同僚がこの席に見えないのは残念だが。……さて「新しいヨーロッパ」を語る前に當然問題に

なるのはドイツのイギリス本土總攻撃だがドイツは果してやるのかどうか、やるなら何時どんな方法でやるか、或は犠牲の少い逆封鎖の長期戦を選ぶかどうか、この問題を先づ取上げよう。もちろん我々は軍事専門家でないから話は新聞記者の坎で進めることにしよう。フランスの占領地一帯にドイツは既に大袈裟な準備を完成したといふ情報があるが實際はどんなもんだら

うか、先づ先輩の渡邊バリ特派員から御願ひしたい。

渡邊 先輩は先輩でも僕は「戦敗」の方だよ、フランス政府と一緒にツールからポルドーへ逃げて行く先々でドイツの爆弾が頭の上でヒューツと唸つて落ちる、敗戦國の特派員なんてみじめなものだ、懲り懲りさ。

河野 その「戦敗」ならこつちの方が先輩だよ。ドイツの爆撃機に追ひかけられてワルソから東ポーランドの國境に辿りついた途端に目の前に爆弾三個を落されもう駄目だと地べたへあぐらをかいてから一年経つ、早いものさ。ロンドン支局の連中も今ごろ気が氣ぢやないだらう。

渡邊 對英攻撃だがドイツ軍司令部が監督してゐるバリの新聞に最近對岸からロンドンを撃つといふ物凄い長距離砲を据ゑつけた寫眞が載つてゐた。それからドイツの大軍は「イギリスを撃たん」といふ勇ましい軍歌を高唱しながら毎ロバリを通過して西に向ふし、貨物列車に飛行機を載せたのがどしどし東の方から送られて来るのを見た。パリで感じたところではドイ

ツ軍はやらうと思へば何時でもやれるぞ、この通り準備はできたぞといふ態度を見せてゐる。しかし先のオランダ、ベルギー攻略の例ではやれるだけの準備をして今にもやりさうな氣配をしばしば見せアーヘンに大軍を集結し皆をびくびくさせながらなかくやらぬ。そこで一般がドイツはやれないのだと氣が弛んだころを見計らひ、突如として襲ひ掛つた。或は今度もその手で行くかまたは今度はその逆を行くのか、とにかく人の意表に出るナチのことだからね、準備と覺悟だけは出來てゐるやうだが何時やるかといふことは今のパリにゐては全然判斷がつかぬ。

守山 このごろどうも可笑しい。この間まで今にもイギリスに襲ひかゝるやうに書いてゐたドイツの新聞がヒットラー總統が七月十九日例の和平演説をやりそれをイギリス政府が拒絶して以來、その對英攻撃の威嚇の筆陣をびたりと止めてしまつた。そして鳴物入りで西部の兵隊を凱旋させたり、國內のダンスを解禁したり、バルカン工作に力を入れたりして島國のイギリスはこの儘放つておいても逆封鎖で參るのだといふゼスチュアを頻に見せてゐる。その中に

だんだん對英上陸作戰不可能論が擡頭して來た。フランスの降伏直後にはさうはいはなかつた。中立國筋の軍事通の間にさへイギリスのやうに防備の完全な海軍國には上陸作戰なんてさう簡單に出来るもんぢやないといふ意見が有力になつて來たのだ。イギリス側はこのドイツの愚圖々々をそれ見た事かと利用して上陸不可能論をます／＼世界に放送する。今ではドイツ總攻撃が一日延びれば延びるだけイギリス攻撃はやつぱり難しいんぢやないかといふ疑惑が世界的に強くなつてゆく現狀だ。しかし僕はこゝに恐ろしい組織的なドイツの宣傳力が働いてゐるのではないかと思ふ。これがいはゆる電撃作戰の下準備なのだ。敵軍のスパイと世界の輿論を次の軍事行動に最も都合のよい状態に導いておくことはこれまでのドイツのやり方に一貫したうまいテクニクだ。僕は今でもヒットラー總統のこの間の演説はイギリスの屈服を期待してやつたものと思はれない。もしこのまゝ何事もなくこの冬を越すとすれば弱小中立國はもちろぬ自國民にすらドイツ軍の攻撃力の鼎の輕重を問はれる結果にもならうし、ヒ總統の面目問題でもあらう。イギリスと長期經濟戰を續けつゝヨーロッパ大陸の新秩序を建設することは下

イツとしては不可能であり、結局短期即決の對英總攻撃は必至の手だと考へられるのだ。

前田 イタリヤでも守山君がいつたやうに中立國筋のいはゆる軍事通、外交通は對英上陸作戰は非常に困難だといふ見方からドイツの對英攻撃はさう急激には行はれないだらうし、従つてヨーロッパに關する限り獨英戰爭は或は長期戰になるのではないかといふ觀測がだんだん行はれるやうになつてゐる。しかしかうした觀測に對して例のガイダ氏なども對英攻撃は既に開始されてゐるのだと論じてゐるし、また僕らから見るとドイツとしては遠からざるうちにやつぱり大規模の空海陸からする總攻撃を斷行するのではないかと思はれる。ドイツ軍の從來のやり方から判斷すると七月十九日にヒ總統が國會を招集してあの大演説を行つたといふことは結局イギリスに對して期限なしの最後通牒を叩きつけたことを意味し、従つて對英攻撃の基礎的準備が出来上つたものと見て差支へないやうだ。

石山 フランスが降伏した直後、イギリスは米政府とローマ法王廳を通じてその後さらにスエーデン、スイス、スペインを通じて和平の脈をひいたといふ説があつたが、これは有り得

る話だと思ふ。しかしイギリスとしては屈辱的な和平と乗るかその戦争との両方を見合せて結局後者の方に肚をきめ直したのだらうと思ふのだ。だからドイツとしても今對英上陸作戦を敢行する以外に手はないのではないか、バルカン諸國ではどう見てゐるかね。

河野 バルカン諸國でもやつぱり獨伊の本格的イギリス攻撃を不可避と見てゐるものが多い。しかも案外近日中に始まりまた案外脆くイギリスが参ると決めてゐるものが多い。しかし一部の少數意見だが對英攻撃とイギリスよりの和平提議の二つの可能性を半々に見てゐる向きもある。要するにバルカン諸國としては大勢として英本國の没落を見越してをり、目下は對英攻撃のことよりも獨、伊、ソ聯三國のいづれにどの程度に頼るかといふ問題が彼等の最大の關心事になつてゐるやうだ。

渡邊 僕が今度パリからベルリンに来る汽車の中での話だが、一ドイツ將校の語るところによれば、九月には英皇帝がカナダに蒙塵する豫定ださうだ。さうして見るとドイツのイギリス攻略は間もないことになる。ドイツ軍人が僕に「日本は何時對英攻撃を始めるか」と問ふか

ら僕は「ドイツの對英攻撃は何時始めるかそれを聞いてから返事する」といつたところ「それは軍律違反だからいへぬ」と笑つた。しかし今にもやりたさうな顔つきだつた。ドイツ兵は少くとも何時なりともと總統の命令一下突貫する用意と覺悟は既に出てゐると見受けた。

守山 さうしたドイツの決意を最もよく知つてゐるのがイギリスだと思ふ。今のイギリスをドイツから見ると降伏間際のフランスの國內事情と非常によく似てゐる。イギリス人が感情に流れず得意の算盤を冷静に弾いたら多少の面目は損してもこゝで手を擧げる可能性も大いにあるので、獨英の妥協といふことは大いに警戒したい。さつきの話のローマ法王廳を通じての和平交渉の真相といふのはどんなものかね。

前田 チャーチル自身とはいはないまでもイギリス政界の有力筋がドイツの和平條件を探り出すべく努力してゐることは本當だ。アメリカを通じたといふことも勿論考へられるし、とにかくヴァチカンに對する働きかけが相當にあつたやうだ。先づ第一に總統の和平提議の演説前にベルンの法王廳代表を通じて最初の打診が行はれた。更に演説後にロンドンにゐる法王

代表が大急ぎでローマに歸つて来て法王ピオ十二世、マリオーネ國務卿、ヴァチカンに今なほ留つてゐる法王廟駐劄英公使と長時間にわたつて協議したといふ事實もある。しかし全權を握つてチャーチル首相一派が頑張つてゐる限り和平には困難な事情があり、今獨伊としてもチャーチル首相からの和平提議を期待してはゐないだらう。

河野 さうだらうね、今の獨伊の鼻息から見るとたとひ和平が高唱されてもその内容はイギリスの降伏を意味する。ところでドイツは結局、イギリス總攻撃をやるだらうといふ大體の結論は出たが何時やるかといふ點はどうだ。

前田 最近ローマでの軍事措置や防空準備を見るとどうも案外間近ではないかと思はれる節があるんだがね。

守山 あて物はあてようとするの外れるものでね、しかし今のドイツの準備と意氣込みから見れば何時始まつても不思議ではない、だから僕はあすにでも始まるやうな氣さへする。九月に入れば海峡に霧がかゝり浪が高くなるからね。ノルウェー上陸、白蘭進入の二つの場合に

我々新聞記者は経験したのだが、やがて或る朝夜明け頃ドイツ外務省からの「緊急新聞會見があるからやつて来い」といふ電話で我々は叩き起されることであらう。眠い目をこすつて出かけて見るとリツベントロップ外相がコミュニケを讀み上げるといふ順序になるんぢやないかな。

渡邊 相手がドイツちやいつ始めるかなんてことで頭をいためるのは愚の骨頂だよ。軍事専門家の間でも諸説紛々人によつて意見が違ふんだから我々素人はどれを信用してよいかかわらない、殊に今度の戦争ではいはゆる専門家には結果において欺され通しだからね。

對英進撃作戰如何 敵前上陸か、落下傘部隊か

前田 七月十一日のポートランド大空襲は對英總攻撃の皮切りとみて差支へないだらう。

十日の晩にベルリンの或るカフェに行つたら折角解禁されたダンスも今週から再び禁止されるらしいから最後に踊つておくのだとドイツ人は氣勢をあげてゐた。ドイツ人は對英攻撃を楽しみながら待ちかねてゐるといつた感じだ。

守山 さうだ。妻い自信だ。前線と銃後のどこを突いても不安がないのだ。ポートランド軍港はただ一回の爆撃でめちやく／＼にしてしまつたらしい。かうした大空襲を繰返し敵の海岸防備と空軍基地を粉碎してしまつてから突如空と海から大部隊を上陸させるといふ戦法だらう。昨日の海峡地帯の大空中戦の結果イギリス機を總計九十三叩き落したとドイツ軍は先刻發表したがこんな空中戦が行はれるくらゐでは海峡地帯の征空権はどちらのものともいへぬやうだ。僕が西部戦線に従軍中もイギリスの飛行機を一機も見かけなかつたがドイツ軍の白蘭に進入した四、五日後にはイギリス空軍は全部大陸から引揚げてしまひ、もつばら來るべきドイツ軍の大空襲に備へて待機してゐたといふからね。

前田 飛行機はアメリカから少しは入つてもパイロットの不足はイギリス空軍最大の弱味だらう。現在イギリス本土防衛の最優秀戦闘機のパイロットは六百名そこ／＼しか残つてゐないといふことだが昨日五十機、今日九十機といふ風に撃墜されて行つてはイギリス空軍の防衛力の底も見えてゐるやうな気がする。

河野 こんどのドイツの電撃戦の基礎になるものは獨空軍の大編隊による攻勢にあるのぢやないかな。そして戦史未曾有の徹底的爆撃をやり、つまりワルソー、ロツテルダムの戦法を大袈裟にやつてイギリス國民に絶望感を起させ人心を動搖させる、それがやがてイギリス政府の後退を導く、しかしそれでもイギリスが參らぬ場合には爆撃によつて海岸の各所に無人地帯を作り、また潜水艦のためにイギリス艦隊が四分五裂に逃げ廻つてゐる前に數ヶ所から快速艇で上陸作戦を敢行するといふ順序だらう。

石山 どこから上陸するだらうか。ある外國の専門家はイギリスのちやうど腰のやうな部分すなはち東はポストーン附近、西はチェスターの邊りから東西一齊に上陸作戦を敢行してまづイギリス本土南北を遮断する手を打つのではないかといつてゐたが。……

渡邊 イギリスの南海岸は絶壁のため重砲やタンクの陸揚げに困難だから遠いところに上陸するのではないかとの説がある。一説によるとスコットランド邊の淋しいところを占領しそこから攻め下るとも考へられる。さらにドイツはアイルランドもまづとるだらうといふ聲もあるやうだ。

河野 上陸地點はそれこそドイツ參謀本部の脳漿を絞りあげた秘策中の秘策だけに豫測を許さぬが、イングランド南部のテームス河口海岸またはプリストル海峽方面といふ見方もある。ドーヴァ、カレー間は快速艇で一時間もかゝらぬくらいだが案外この最短距離が上陸作戦に使はれるかも知れぬ。しかし上陸作戦は一步間違へば全滅だからドイツ參謀本部もよほど頭を痛めてゐるだらうね。

前田 今までの経験によるとドイツ側の作戦に關する限りいはゆる専門家の觀測は殆ど的を外れてゐるやうに思はれる。僕ら素人にはせると地勢上の困難はあつても、やはり上陸作戦は後方聯絡や海上勢力といふことを考慮に入れ、主として最短距離を選んでドーヴァを中点として行はれるのぢやないかと思ふ。現在はナポレオン時代と違ひ完全に立體的總力戦になつてゐるから、かりにイギリス艦隊がドーヴァ渡洋妨害のため同方面に集中することとなれば却つて獨逸空軍と潜水艦にとり最も有利な攻撃目標となるわけで、したがつて主力部隊の渡洋については僕はドーヴァ不可能説やスコットランド、アイルランド説は採りたくない。

守山 上陸作戦といふと白波を蹴立て、勇ましく海を渡るやうに聞えるが、こんどの上陸作戦は人の意表に出て空からやるだらうと思ふ。敵前上陸ぢやなしに敵の背後に降下するのだ。ドイツの空軍勢力は開戦當時の計算で十軍團三十ヶ師團、機數にして約一萬五千機、空軍の兵士や落下傘部隊などで立派な師團が數ヶ師團できてゐる。ナルヴィクの經驗からいへばイギリスの島は地理的に大部隊の空中輸送には眺へ向きの位置に横たはつてゐる。海を渡つてゆく方法は第二の方法だ。それにさつき河野君のいつた徹底的海峽空襲も大いに可能で、それに空軍の五百機單位の戦法はさきに専門家の間で研究對象になつてゐたが、ドイツはそのうへを行つて千機單位の爆撃機編隊を考へ今度の對英攻撃にこれを實行せんと目論んでゐるといはれ

る。そして勢ひの越ぐところ無差別爆撃といふことになり兼ねない。こゝ一ヶ月ばかりイギリス空軍は毎夜西部ドイツに現れて非武装地帯に爆弾を落してゐるのをドイツ側は單に事實だけを發表してこれが報復の権利は保留するものなりと無氣味なことをいつてゐるから……

渡邊 いつたい世界一の海軍をもつてゐるイギリスはこの機會にその虎の子をどうするかが見ものだね。イギリス艦隊の勢力はアイスランドに逃げてその本國附近には姿を見せないといふぢやないか。

石山 ノルウエーからビスケー湾に至る海岸線をドイツに占領されいたるところドイツ空軍基地ができた今日、イギリス艦隊はイギリス本土に近づけないんぢやないかな。殊にドーヴア海峡のやうな狭い海峡では大艦隊は動かさないといいふことをドイツ側で指摘してゐる。

河野 さうだらう、目と鼻の先にあるイギリスなんだから小廻りの利く小型の艦艇の方が機動力を發揮するだらう。ドイツは快速艇だけでも三千隻もつてゐるといふね。

守山 去年の秋以來三日或は二日に一隻づつの割合で大量生産されてゐたドイツの潜水艦

は現在少くとも百五十隻はあると思ふがその後あまり活躍してゐない。新武装を整へた潜水艦の大群が今度のイギリス攻撃のため枚を揃へて待機してゐると見なければならぬ。

渡邊 イタリヤ海軍が地中海から飛出してイギリス攻撃を應援に出かける必要はないかね
前田君

前田 その必要はまづなささうだ。ドイツ海軍が前のノルウエー海戦で相當の海軍力を失つた。だからこれが補充のためにはイタリヤ海軍を利用しなければならぬといふ見方もあつた。もちろんイタリヤとしてはもしドイツにその必要があれば應援するに吝でないであらうが、それにはジブラルタルのイギリス海軍基地を掃蕩し大西洋への聯絡を確保する必要があらう。しかし獨伊の作戦が一體をなしてゐるのは事實だけれどもその行動範圍は自ら異なつてをり相異なる範圍内ではそれ／＼獨立の作戦をとつてゐるしドイツ自身からいつても完全に高能率の立體戦を進めてゐる今日、必ずしもイタリヤ艦隊の救援が必要だとは考へられない。イタリヤの對英艦隊はジブラルタルからアデンにおよぶ廣い地域だ。だからイタリヤとし

てはその艦隊の勢力を地中海から紅海に集中しその圏内にある相當量のイギリス艦隊を叩くことにならう。ことに陸上戦もリビア、エジプト國境から英領ソマリー、ケニヤに伸びてゐるのだからこれをカヴァして行くためにもイタリヤ艦隊の主要行動地區が大西洋を北上する點にまで飛ばすことは考へられないと思ふ。

河野　イタリヤ海軍が地中海で活動してくれるだけでもイギリス海軍をこれに相當引きつけておかねばならぬからそれだけドイツとしても樂になるわけだ。僕も上陸作戦にイタリヤ海軍を必要とする程度は案外少いのではないかと思ふ。

敗残の英國は何處へ行く 獨の政治經濟は英を壓倒

河野　十三日DNB通信社から電話があつてドイツ空軍は十三日朝もまた基地を出發し目

下イギリス本土攻撃に向ひつゝありといふことを知らせて來た。餘ほど自信がなければこんな風に堂々と軍事行動の前ぶれをやつて飛び出せるものでない。戰鬥力の桁が違ふのだからこれは勝負にならぬだらう。氣の毒だがイギリス人は馬鹿な戦争を吹つかけたものと思ふ。いまのやうな大空襲を連續して繰返すにはもちろん大變な機材の準備が必要だらうが、その邊にもドイツは手拔かりがないやうだな。

守山　僕が西部戦線に約三週間従軍したときには一日平均五百キロづつも自動車で走り廻つたものだが、どんな戦線に行つても森の中や小山の蔭にドイツ軍のガソリン罐が山のやうに積まれてあり、ベルリンで想像もできないほどにふんだんにガソリンが使へたので驚いた。前大戦の失敗を二度繰返すまいとして政治、經濟、外交、軍事あらゆる部門に水も洩らさぬ準備を終へて、さてやりはじめた戦争なのだ。知らぬ間にズル／＼と大きくなつた戦争ではない。

前田　これまでの自由主義經濟では經濟が政治に先行し經濟が政治を支配した。しかしナチス及びファツシヨ國家では政治が經濟を支配してゐる。國家の必要を第一にして經濟を規定

し運用してゐるのだからどんなことでも思ひ切つてやれる點が強味なのだ。ことに戦争の場合かうした組織が絶對的にものをいふ。イギリスまでがナチスやファツシヨの眞似をして國內を戦争體制に組み替へようとしてゐるが、ときすでに遅しの感がある。

渡邊 バリではいつでも空にドイツ飛行機の十臺や二十臺飛んでゐないことはない。晝夜の別なく蜻蛉のやうに高く飛んだり屋根とスレ〜に飛んだりしてゐる。ロンドン空襲の積古をバリの屋根の上でやつてゐるのかも知れぬがガソリンがふんだんになればあんな猛訓練はできないだらう。フランスの貯めてゐたガソリンも相當に分捕つてゐるやうだ。

河野 フランスから分捕つたのが二百萬ガロンといふことだ。ガソリンが前線に澤山補給されてゐるといふことは別に驚くにも當らぬと思ふ。開戦以來まだ一年にもならぬし特別大きな消耗戦にもぶつつかつてゐないのだから。

渡邊

石山君 經濟的に見たドイツの國力は昨年開戦當時と現在とどう違ふだらう。

石山

大きな消耗戦に遭遇してゐない現在、ドイツの戦時經濟力はむしろ開戦當時より少

しよくなつてゐるのではないかと思ふ。一切の統計が發表されぬのもちろん臆測にすぎないが、占領地帯のオランダおよびスカンヂナヴィヤから食糧がどし〜入つて來るし、軍需資材のうち殊に鐵はスカンヂナヴィヤ、ベルギー、リユクサンプールから欲しいだけ入つて來るし、またルーマニヤの石油のうち從來英佛に供給してゐたものは悉くドイツに切替へることになつた。バルカン地方が完全に英佛から遮斷されたこともドイツにとつては大きな力になつてゐる。

守山

さてドイツ軍の爆撃がつづき假りにドイツ兵があつた島國にとりついた場合イギリスはどう出るであらうか。イギリスは手を舉げて參るだらうといふ見方はドイツにおいてもつとも強かるべきはずだが、それでもドイツ輿論の七割まではチャーチル一派のイギリス支配階級は海外に逃避してでも抗戦をつゞけるだらうとみてゐる。僕はフランスと同じやうに一部の政府と艦隊は海外に逃げ出し、残つた大部分の國民の中に親獨政府ができて當面を收拾するのではないかと考へてゐる。この場合フランスと違ふ點は逃げ出した政府は皇帝を擁して正統政府

としての看板だけは立派なのを掲げるのではないかと思ふ。問題はアメリカがそれをあくまで支持しヨーロッパを相手に經濟戦をはじめめる決意があるかどうかにかゝつてゐる。

石山 僕はイギリス政府が海外に逃避してまで抗戦をつゞける可能性は少いと思ふのだ。本國を失つた大英帝國などは無意味だし逃避した政府に屬領がついて行くとは考へられない。

河野 ラチオのドイツ軍の發表によつてもすでにドーヴァ附近の制空權を掌握したといつてゐるが、これがやがて全イギリスの制空權をとつた場合大編隊爆撃が繰返され、しかもこれが軍事、非軍事施設の區別なく（それを區別することは技術上不可能）繼續されたらイギリスも案外早く手を擧げはせんだらうか。四千萬の人民があつた小さい島國に住んでゐて海外植民地との聯絡が不十分となつてゐるところへ、無差別爆撃を食つては政府の一部にたとひ石に嚙りついても頑張らうとするものがあつても、婦女子を含む國民全體の危機の前には降伏を餘儀なくされるだらう。結局フランスの前例に倣ふのではないかな。焦土戰術をやるつもりならすでに婦女子を逃がしてゐなくてはできぬが、これさへできない現状だ。

前田 僕はカナダかどこかは豫測は困難だが、イギリスが抵抗不可能となればチャーチル一派は必ず逃げ出すと思ふ。イギリス艦隊についてはその全部がカナダに移行することは考へられない。それは適當に主要植民地をめざし分散的に逃げるのではないかね。殊にアジアの問題、インドや海峽植民地問題や喜望峯、紅海にインド同様の眼みを利かしたいといふ政治的觀點からするとイギリス艦隊の重要部分の一部がオーストラリアに根據地を移す可能性もなきにしもあらずだ。かうなれば日本にとつても重要問題だらう。

渡邊 フランスの主戦派だつたマンデルやダラデイエも逃げたからね。

前田 要するにチャーチル一派が逃げたあとのイギリス本國はドイツの覇權下に入らうが植民地は依然として對獨戰爭を繼續する可能性が多いと思ふ。

渡邊 ドイツ軍の監督下にあるバリの新聞にはイギリス政府の要人誰その家族はカナダへ逃避したといふ記事がしよつちゆう出てゐる。イーデン陸相の家族もダフ・クーパー宣傳相の家族も……イギリスを左右してゐる貴族階級が逃亡して民衆が取殘されるのはフランスの例

を見ても當然のことだらう。國民全體を避難させることは絶対不可能だ。イギリス政府と貴族富豪だけが海軍と一緒に逃げるかも知れぬが、國民あつての政府だから政府だけが逃げるといふことは意味をなさない。イギリス本國をとられたら、昔のスペイン同様、植民地はめい／＼獨立國となるほかはあるまい。ドイツはフランスに對したごとく政府に捨てられた大部分の民衆に働きかけ、その民衆をして獨伊のヨーロッパ新秩序の意圖するところを認めさせ新秩序に合流して来るやうに仕向けるだらう。

河野 さうだ、逃げようとしても容易に逃げられないだらう。しかしもしイギリスが本國で叩かれたあとはイギリス軍たるものはドイツの支配下に立つことを潔しとせず、ヨーロッパから逃げ出すだらう。しかも海軍軍人の家族は一緒に逃げられぬので世界の海上で敗殘のイギリス海軍がゲリラ戦をやつても長つゞきはせぬだらうと思はれる。

守山 これは大ぶん議論になつた。イギリス政府が逃げるだらうといふ説と逃げられないでそのままイギリス本土とともに往生してしまふだらうといふ説と二説あるわけだが、この間

題に解答を與へるのも遠い將來ではあるまい。僕は元來今度の戦争はイギリスが算盤を忘れた面目と感情の問題から買つて出た戦争と思ふのだがその意味で第二の根據地はどこにだつてあるのだからエチオピア、ノルウエーの王様を引連れて敗殘國聯合政府をつくり、あくまで「自由と面目」のために抗戦してゆくものと思ふ。イギリス軍艦の大砲にアメリカ製の砲彈は合はないだらうし、妻子を敵國に人質されたイギリス兵が旺盛なる士氣をもつて戦へるかどうかは疑問だらう。たとひ逃げ出してもその前途はすこぶる希望少く、結局從來のやうな觀念の大英帝國は第二次大戦とともに没落の一路を辿るものと考へる。

前田 前大戦の終つたのち、すでにイギリス本國のカナダ移轉といふことが實際に計畫されたことさへあるのだからね。……

歐洲新秩序と米ソ 無視し得ぬ日本の存在

渡邊 ドイツの攻撃力から見ても、最早イギリス本國を救ふ起死回生の妙手はどこにも残されてゐないとおもはれる。イギリスがその名譽の幾分の一でも救ふを得るとすればフランスがやつたよりも少し早目の状態で降伏する以外に手はないのではないか。あくまで頑張つて焦土抗戦をすれば大勢は結局大英帝國の崩潰といふところまで行かざるを得ない。かうした歐洲の變革をアメリカが果して黙つてみてゐるであらうか。さらにソ聯はドイツの對英攻撃のチャンスを利用して例の手でどの方面にいかにか働き出すであらうか。對英攻撃と列強の働きといふテーマをすこし話題にしてはどうか。

守山 アメリカは輿論的にみてすでに参戦してゐる。しかし軍事的に参戦できなかつた。

將來もできないだらう。ドイツではかういつてゐる。アメリカの参戦を食ひとめたのはドイツの電撃戦の効果だ。たとひいまアメリカの軍隊がニューヨークを出發しても大西洋をわたつてこちらへ來る間に歐洲の戦争はすんでしまつてアメリカ兵の上陸する戦場はなくなつてゐるだらう、とドイツではいつてゐる。フランスが抗戦繼續か降伏かを決する前に、レイノー首相はルーズヴェルト大統領に最後の救援の確約をもとめたが、アメリカはそれに否定的な回答を送つた。このときにアメリカの歐洲戦争に對する最後の態度が決定的になつたと考へたい。

渡邊 占領されたバリーにゐてはアメリカの最近の動向はわからないが、原則的にアメリカ人はお坊つちやん氣質で算盤よりも人道主義的な正義感で動く國民だから、今後においてなほ参戦の可能性があると見る向があるがどんなものか。

河野 アメリカは結局参戦しないであらう、實質的にはすでに参戦してゐるのと同様なのだが……直接軍隊を送る以外に出来るだけの援助をやつてゐるからね。したがつてこれ以上にかりに軍隊を送つて形式的に参戦しても効果がないことを彼らはよく知つてゐるはずだ。アメリカ

カとしてはフランスの單獨講和によつて参戦の機会を失してしまつたと見たい。また現在アメリカにとつて参戦の理由としてアメリカ國民の納得するものがない。しかも参戦の効果はないと來てはアメリカがこれ以上歐洲戰爭に深入りすることは考へられない。またかりに参戦の理由があつたとしても日本海軍の西太平洋における存在も考慮に入れねばならぬ。

渡邊 さうだ。日本にとつていいことか悪いことか知らぬが、日本の海軍の存在がアメリカの歐洲戰爭参加をある意味で牽制してゐるといふことはいへるやうだね。

前田 イタリアでもアメリカの軍事的参戦は最早不可能と見てゐるが、しかし對米強硬態度をとると同時にアメリカ國內輿論の誘導に最大の注意を拂つてゐるやうだ。イタリア側の見方ではアメリカ輿論の八割までは獨伊を憎んでゐるが、この八割のうちさらに九割は参戦に反對だと見てゐる。もつともアメリカ人の輿論の硬化は簡単に斷定できないが、假にルーズヴェルト大統領が三選して、その後輿論を軍事的参戦に向けるとしても、當選決定は十一月だから獨伊が速戦即決方針を堅持するとすれば結局時機を失することゝならう。

守山 大きく見透すと、こんどの歐洲戰爭は獨伊の新思想がデモクラシーを歐洲大陸から追拂ひ、世界にたゞ一つのデモクラシーの牙城として取殘されたアメリカを脅威して軍擴に狂奔せしむるといふ結果になりさうだ。ヒットラー總統は早くもそのことを見越して「アメリカの軍擴にはドイツは何らの興味を感じない。自由におやりなさい、但しアメリカが新歐洲との協力を拒否するならばそれはアメリカ經濟の自己崩潰を意味するだらう。」と半ば御機嫌を取り、半ば脅かしてゐる。

石山 フンク獨經濟相もこの間の演説でアメリカを脅かしてゐたね。それはいま歐洲の新秩序の問題と絡んでドイツが目論んでゐる金の否定だ。これは世界の金の約七割五分をもつアメリカに對する大きな挑戦だが、しかしこれが直にアメリカ参戦の誘因の一つになるとは思へない。戦後に殘された未解決の問題だからだ。

前田 ソ聯の態度については、イタリアはバルチック方面では利害關係なく、ルーマニヤへの進出も、ベッサラビヤ方面のみへの進出ならば格別の反對もないのだが、ソ聯がこの方面

を西部防禦の限界として、さらに東南下する態勢を整へたものとして重視し、ソ聯が將來獨伊の對英本格的攻撃を利用してダニューブ以南、特にダーダネルス方面に魔手をのばす意圖をもつてゐるのではないかといふことを警戒してゐる。ルーマニヤ問題についても獨ソ間の諒解を無視してことを急ぎ、かつイタリヤに對しては直接にその計畫を通報しなかつたことを不満としてゐるやうだ。ヒットラー總統が七月十九日の演説で對ソ關係の不變を指摘しながらも、獨ソは各所期の目的遂行に向つて獨自の方針を實現して行くことを暗示したのは、ソ聯に對して示威的壓力を加へるとともにソ聯が對英攻撃の本格化に乘じこれからも相當の手を打つたらうといふことを考へてゐる證據だ、とローマ政界の一部では觀測してゐるやうだ。

守山 「獨ソの利害衝突せず」といふヒットラー總統に對して、モロトフ・ソ聯外相は

それに賛意を表し獨ソの提携に表面賛成してゐる。殊にヒットラー總統の言葉は伸縮自在のうまい外交辭令でソ聯の今後の動きに一本釘を打つてゐる。ソ聯の眞意は英獨抗争の助長といふことがいはれたが目下の状態ではさう注文通りに行かないやうだからソ聯としてもこの際獨伊

の利害と致命的な衝突を來さぬ程度で日ごろの計畫を擴大化して行くものと思はれる。現在の戦局は世人の豫想を裏切つてゐるのでソ聯としても獨ソ提携に便乗してその範圍内のことしかやれないのではないかと思ふが……

渡邊 出るとすればどこへ……

前田 對英攻撃が本格化した場合、ソ聯がどの方面に手を染めるかについてはイタリヤでは大體まづフィンランド問題を最終的に片づけ、それから機會をねらつてダーダネルスまで出てくるのではないかと見てゐるやうだ。昨年末のソ芬紛争ではイタリヤはフィンランドに多大の同情を示したがいまでは同方面には殆ど無關心でひたすらダーダネルス問題を監視してゐるといふ實情だ。ソ聯がダーダネルス問題を有利に解決することはソ聯が地中海に進出することを意味するもので、イタリヤとしては黙視し得ないところだが、しかしイタリヤとしては武力をもつてこれを阻止するよりも政治的にこれを解決したい肚を持つてゐるのではないか。ソ聯のかういふ態度はまた、ドイツの近東への道を阻止することになるから事實上さう好ましいこ

とではないが、獨伊としては現在のところは將來のソ聯の進出方向を出来るだけイラン、イラク方面に向けさせ、ソ聯を歐洲國家ではなくアジア國家とするやうに誘導して行く方針ではないかと思はれる。但しソ聯のインド進出を獨伊は簡単に許すだらうか。

河野 陸軍國フランスのあまりにもろかつたことはソ聯に重要な反省を與へたことだらう。獨英戰爭終了前にベツサラビヤを片づけ、プロヴィナまで進出したことは戰爭終了後來るべき事態に備へた軍事的意味が多分に含まれてゐると思はれる。ベツサラビヤよりさらに南下し、またプロヴィナからさらに中央に進出することは、獨伊との紛争を覺悟しなければならぬから戰爭の永引かぬ限りソ聯はこれをさけるであらう。しかし獨英戰爭終了前にベツサラビヤを片づけたのだから、ソ聯としては獨伊の形勢を觀望しながら、近き將來トルコ、イラン、フィンランドの三方面に新要求を提出して來さうだ。すでにオランダ島問題は起つて來た。要するに戰爭終了前にバルカン以外の弱點に向つて進出することはモロトフ演説からでも察せられる。

渡邊 アメリカはこの歐洲の大變革に何ら決定的な干渉の術を持たず結局中立のまゝ終りソ聯は獨伊との摩擦を避けつゝ抵抗力の少いところへ徐ろに進出すべく虎視眈々といふところが皆の結論らしいな。

佛國は再起出来るか

ドイツの占領地統治策

守山 一體フランスは再びヨーロッパの強國として復興し得るだらうか。例のラヴァル派の全體主義運動をドイツの言論機關は嘲笑的に非難してゐる。この間ベルリンのある夕刊新聞にフランス人が俄にナチスを眞似て挨拶代りに手を舉げ出したことをからかつた話が載つてゐたが、その大意は、

「全體主義運動なんて一夜づけで出来るものぢやない。我々ドイツ人が過去二十年血を流して

築き上げたものを、フランス人は一晩でやらうとしてゐるがそれは駄目だ。フランス人はアドルフ・ヒットラーを欲しがつてゐるが、我らのフューラー・システムは輸出物ではない。デモクラシーで腐り切つた魂を根本から手術せぬ限り駄目だ。フランスが借物の全體主義で復興したらお目にかゝらう」

と猛烈な調子でやつつけてゐた。ドイツではフランスが再び隆々たる國家として復興することは差當り見込なく、またさうはさせないといふ意見が多い。

渡邊 僕はパリの特派員として、一體フランスは復興するだらうかといふことをよく人から質問されるのだが、今のところ混亂状態からすら脱してゐないのだから判断はできないといふのが正直な答だらう。今のフランス人には敵愾心もなく希望もない。國力が復興するとしても思想的に、もとのやうな強國になるかどうかは疑問だ。その前に一騒ぎも二騒ぎも起るから現在は闇夜でいまだ 曉の月の光もさしてゐないといふ状態なのだ。

河野 フランスは、従來はイギリスの妾だつたが、今度はドイツの奴隷になつたと酷評す

る向もあるやうだが……

渡邊 一八七〇年の敗戦の際はフランス精神がかへつて勃興し敵愾心が旺盛であつたが、今度はその點全然駄目だ。ドイツ軍人でさへ餘りの腑甲斐無さに拍子拔の形で、ドイツの意圖のもとに行はれるヨーロッパ新體制に農業のおよび美術的に協力させるだらう。手つ取り早くいへば麥と豚と葡萄酒と香水と絹靴下を仕上げてドイツの工業製品を拂下げてもらふことになるだらう。江戸時代の醫でいへばドイツが士族でフランスが百姓といふところだ。元來フランスはラテン民族のくせに貧しい親類を他人扱ひにし赤の他人の英米人と親類交際をしてゐた。イタリアたるもの憤慨するもの無理はなからう。今後イタリア、スペインと同列の親類としてラテン新體制を作り、ラテン民族の一員として復興すれば將來の見込は認められるだらう。

前田 それはフランスの希望ぢやないかな。フランスがラテン民族であるなれば、ラテン國家から離れすぎてゐたことになる。イタリアは大きな不満をもつてゐた。だから今でもペタン、ラヴアルのコンビで計畫してゐるフランスの政治改革に對しても冷笑的に惡罵を浴せかけ

てゐる現状だ。それは全體主義政治は、如何に巧に轉身しても舊式の觀念で培はれた彼らにはなし遂げ得るものでないといふ意味もあるのだが、勿論この悪罵の裏には將來フランスが急速に復興することを警戒する氣持も多分に含まれてゐると見てよからう。

守山 フランスに兵力を持たせないといふドイツ側の根本方針は將來の平和會議でも動かぬところだ。また祕密裡の再軍備についても絶対にそれもさせないといふ確信をドイツ人は持つてゐる。パリで會つた軍人は、

「再軍備の技術はわれ／＼ドイツ人の專賣特許だ。われ／＼が如何に聯合國の監視員の目をくらまし苦心に苦心を重ねて密かに再軍備をやつてきたか、そのやり方をちゃんと知つてゐるから今後のフランスには絶対にそんな眞似はさせない。」と大變な見幕だつた。

河野 フランスの新占領地帯の實情といふものを少し渡邊君から聞きたいね。

渡邊 一言にしていへばドイツの軍政のもとに統一してゐる。政治も社會生活もドイツ

の手によつてのみ行はれてゐる。パリに來てゐるドイツ軍人は將兵ともに體格素質の優秀なものが送られ軍律の嚴格なることは一寸自分の眼を疑ひたい位だ。その方面ではだらしなさざるフランス人にとつては全くよい教訓だ。イギリス兵は女なんかにふさけて愛嬌はあつたがドイツ兵は丸でロボットのごとくに正確に命令通りに動くだけである。ドイツ兵はフランス人の鶏一羽とつても嚴罰に處せられるさうだ。パリの警官もドイツ軍の指揮のもとに働いてゐるし、新聞もパリ・ソワール、マタンなどが普通りの形式で發行されてゐるが、皆ドイツ軍の指揮を受けてゐる。ユダヤ人排斥だつてドイツ國內のナチスのやり方でピシ／＼やつてゐる。

守山 上海や天津の占領地でわれ／＼が經驗したやうにドイツ人の利權屋がパリの占領地に乗り込んで引つ掻き廻すといふやうな傾向はないかね。

渡邊 そんなことは絶対にない、ドイツ本國と占領地の間は一般人は往き來ができず、こゝにフランス、ベルギー、オランダには外交官にさへ國境通過の許可を出さない。新聞記者だけが目下のところ特別の許可をもらつて出入ができるくらゐのものだ。流石に統制の國だ。

つまり恩威ならび行はうといふ風で、峻厳なる取締規則で臨むと同時に市民に對する善政すなはち社會政策を實行してゐる。動物園、映畫館、博物館などフランス人が管理してゐた當時よりも設備をよくし、しかも入場料を安くしてゐる。

前田

パリの文士や畫家連中つまり藝術家たちはどうしたかなア。

渡邊

ほとんど逃げ出した。残つてゐる者も何も出来ない。したがつて食ふに困る連中も少くないので藝術家のためにモンパルナスに一食葡萄酒つき四フラン、日本でいへば十錢くらゐで食はせるレストランを設けてゐる。國立劇場もいま蓋開きの準備中、反ナチものばかり出してゐた「テアトル・デザンバザドウル」だけが開場してゐて、政治的イデオロギー抜き純藝術的なものを上演してゐる。ドイツ側の占領地帯ではドイツ式の秩序整然、情實政治排撃といふことで一視同仁一般民衆の評判はすこぶるよろしい。自由區域の方はなんとはいはうか、人間は落目になりまた混亂状態になると人間通有の弱點を遺憾なく暴露するのだからこれを取りあげて論するのは残酷だらう。まあ無茶苦茶の一語につきる。

守山

ベルギー、オランダの占領地のその後の印象は？

渡邊

ベルリンに來る途中ベルギーを通つて來たがこれはまた鮮やかだね。占領する方も占領される方も、兩方ともすつかり馴れてゐる。ブラツセルは大した賑ひだ。ベルギー前外相スパークの兄にあたるスパーク監督が作つた、日本でも上映された「女ばかりの都」そのままだ。十六世紀のころあの邊りのある自由市がスペイン軍に攻められたとき男をかくして市長をはじめ全部女ばかりが居残りスペイン將士を歡待して安全をはかつたといふことだが、現在の事情があつた。オランダも大體ベルギーと同様だつた。しかしこれら兩地域のドイツ軍はパリにおけるドイツ軍ほど他所ゆきでないやうに見受けた……

守山

ドイツ軍の支配下にある占領地の經濟状態について石山君に述べて貰はう。

石山

ドイツは戦後に來る歐洲新經濟秩序建設を促進するために占領地の復舊に全力を擧げてゐる。その根本方針はまづドイツの戦時體制に即應するやうに、次にはその國の自給自足を目標してゐる。しかしこの占領地復舊の程度は勿論國によつてそれ／＼違つてゐて戦禍が割

合に少かつたデンマーク、オランダなどは大部進んでゐるやうだが他の地域はこれからといふところらしい。フランスでは農業地帯のところどころに捕虜を入れてはゐるが、とてもこの位では追いつかないであらう。

河野 例のドイツ軍の軍票はどの位出てゐるものか。またそれによるインフレの危険はないかね。

石山 占領地帯に對する獨軍の軍票使用の限度は三十億マークだが實際には十億マークほどしか使はれてゐない。あとの必要部分はその國の紙幣を一應その國から借りた形にして賄つてゐるやうだ。物價は軍需に押へられてはゐるが一方には物資が不足してくるし他方では紙幣の流通量が多くなつて來るし、この分だとドイツがよほどの物資を補給してやらないと將來にはやはり悪性インフレの危険が十分あると思ふ。占領地の一角に悪性インフレが起れば勢ひドイツの目論む歐洲新經濟秩序建設は不可能になるだらう。ドイツはもちろん徹底的にこれを防止することにならうが、しかし悪性インフレ防止の途は統制による統制ではなく物資を如何に

して補給するかと根本問題であることには變りはない。

豫想さるる「新體制」

獨伊中心の新經濟組織

守山 そこで話を歐洲新體制、新しい歐洲はどんなことになるのかといふ方に進めよう。しかし、對英攻撃もいまだ終つてをらず、講和談判になるか長期戦になるかはつきりしない今日ではあるが、現在においてさへ歐洲大陸における獨伊の制覇は完成したと見られるのだから、結局がどつちに轉んでも今後の歐洲は全體主義樞軸に手綱を預けて了ふものと見てよいやうだ。

渡邊 それではまづ本家のドイツからやつて貰はう。一體將來の歐洲をかうしようといふはつきりしたプランをもつて戦争をはじめたのかね。

守山 それはヒットラー總統に聞いて呉れ。戦争それ自身にははつきりしすぎるほどのプランをもつてゐたらう。しかし戦後の歐洲、あるひは世界の新秩序に對して確然たる計畫をもつて臨んだ戦争とは思はれない。それが證據に、従来のナチスの世界觀や政治理論では、來るべき廣範圍な世界政策を行ふには餘りにも小さすぎて割り切れないものがあるので、黨の世界觀は教育部長ローゼンベルク氏を中心とするナチス學者が集つてナチス理論の擴大飛躍がこの戦争中に試みられてゐる。今でこそ軍事行動に紛れて注意されてはゐないが、やがて平和が來ればこのナチス理論は世界學界、言論界を騒がすことだらう。たとへば「一指導者、一民族、一國家」なんていふこともダンチツヒ奪還を最後としていはなくなつたし、ナチがあれほど好んで口にした「レーベンスラウム」(生活圏)といふ言葉ももはや古くさい過去のものになつてしまつた。日本が南洋あたりを相手にして生命線といふ言葉をいまだに虎の子のやうに大事に使つてゐる間にドイツはそんな言葉を必要としない状態に一足お先になつたといふわけだ。ドイツ人はいはせると生命に關する大切な生命線なら放つておく手はないといふ。はつきりして

ゐる。僕は祖國回復、國內統一といふナチ本來の使命は今度の戦争をもつて終結したと思ふ。これからのナチは同じナチでも世界政策に乗出したナチだ、今のドイツ政府は帝國主義といふ言葉を嫌ふがこれからのドイツの歩みはナチ的帝國主義といつた内容のものとならう。

渡邊 近ごろドイツ人がいひ出した「グロスラウム」といふのはなにを意味するのかね。

守山 さうだ、レーベンスラウムに代つて近ごろ大ものゝ演説に「グロスラウム」といふ言葉が頻りに現れ流行語になりかゝつてゐるが、歐洲だけのことか世界的に適用されるのか、この正體は今のところいまだ謎だ。直譯すると「大地域」とか「大勢力範圍」といふことになる。日本の「八紘一宇」といふ精神と對照される言葉だ。いづれにしても民族再建運動から出發したナチが世界的に飛躍しようとする前觸の言葉だ。最近あるドイツの要路者がつぎのやうなことをいつてゐた。將來のドイツの活動範圍はつぎの三つのカテゴリーにあてはめられるといふのだ。第一ライヒ、第二ベライヒ、第三アルバイツラウム、すなはち第一のライヒはドイツ民族の祖國としての大國家でこれにはアルサス、ローレンその他の西部のドイツ民族居住地

域が新國境の中に包含されるだらう。第二のペライヒといふのは、ドイツ本國の直接の勢力範圍といふ意味で、北歐スカンデナヴィアはもちろんバルカンも占領されたフランスもこの勢力範圍に入つてしまふ。これが將來、近東或はアフリカのどこまで擴大するかといふことが問題だが、第三アルバイツラウムといふのはドイツ民族の職場といふ意味で、南米はもちろん、この間のフンク獨經濟相の演説にもあつたやうにはるか極東支那大陸も經濟進出の對象として立派なドイツの職場としたいわけで、日本は歐洲戰爭に不介入の態度をとつてゐるが、來るべき世界新體制には積極的に介入する用意が必要だ。

渡邊 ドイツが獨りで新體制を指導するやうに聽えるがイタリアももちろんこのライヒやペライヒが欲しいわけだらう。

前田 新體制において中心となる國家は結局ドイツだけだといふ結論も成立しようが、まづ獨伊聯携が企圖する體制が確立し、獨伊はそれ／＼の分擔地域をもつ意味において密接不可離の連鎖を固め、この一本の鎖を圍んで他の歐洲諸國は從屬的地位に置かれるのであらう。

河野 ドイツ、イタリア間には政治的勢力範圍の決定について、すでに大綱において意見が一致してゐるだらうが具體的問題についてはなほ未定のものであるのではないか。ことに經濟的新秩序についてはなほ今後協議すべき多くのものがあるやうだ。新體制の實現について獨伊が單に政治的のみならず經濟的にも十分意見の一致を見ることを前提としなければならぬ。

前田 實際のところ、イタリアでは今日まで新體制の問題については公私とも何らの見解も發表してをらず、僅かに獨經濟相フンク氏の發表を簡單に批評してゐる程度だが、官邊の口吻を綜合して考へると歐洲新體制の基礎觀念は、政治的にも經濟的にもナチズムとファシズムとが中心となることは勿論だ。簡單にいへば政治の内容が經濟となるわけで、個人的には資本の私有を認めるが、利潤獲得競争を禁止し國家と國家との關係においても經濟は労働を中心として計畫されて行く。しかもその計畫の中心となるものは獨伊兩國たるといふことにならう。

守山 ドイツでも戦後の歐洲をどうするかといふことについて政府當局が公言したものと
しては、いまだ僅かに二つの材料しかない。この間のフンク經濟相の新歐洲經濟に關する發表、
も一つはローゼンベルク氏のゲルマン國家聯合論だ。このゲルマン國家聯合論はパロン・デッ
セイ（揚げ風船）の意味があり、スエーデン邊りで餘りよい反響がなかつたので目下引込めら
れてはゐるが、戦争が濟めば結局強者の支配する歐洲となり獨が盟主となつて北歐洲から中
歐を指導するといふ關係は動かさないだらう。そこでフンク經濟相の發表だが……

石山 ドイツが目論む歐洲新秩序の骨子は大體この前のフンク經濟相の發表で窺ふことが
出來よう。あの演説を要約すると次の二つが中心だ。その第一は歐洲經濟圏はマルクを基礎と
する支拂手段の安定によつて調節された經濟關係に入り歐洲の自給自足を目的とする。しかし
第三國との通商關係を妨げるものではない。その第二は歐洲の經濟圏においてドイツの工業
製品と他の各國との原料および農産物を交換しドイツの支配的勢力の下で相互扶助を營む。ド
イツはこれを調節する手段として戦前および戦争中に採用された經濟統制の方法を原則的に全

歐洲に擴充適用する。これにつけ加へてソ聯並に北米及び東亞との通商關係について言及
してをり、戦時經濟の平時經濟への切替も困難でないといふ様なことをいつてゐる。

新體制の經濟的側面

東亞にも當然關聯

石山 歐洲新體制の基礎になるものは勿論強力なドイツの政治的勢力だが、しかし實際
に歐洲各國を繋ぎ合せる楔の役目をするものは、この政治的勢力の上に立つドイツの經濟的指
導の方面だと思ふね。東亞の新秩序が日滿支三國プロツクの基礎の上に立つてゐると同じこ
とで、ドイツの目論む新體制はむしろ日本が手本を示してやつたやうなものだ。歐洲の新經濟
秩序はこの間フンク經濟相の演説で示された。しかし具體的にはいまだ何も決つてゐないのだ
から、いまのところではいまだ草案の範圍を出てゐない。要するに歐洲は自然に一つの團體を

なしてゐるのに各國がおのの経済的に獨立してゐることが今日の政治的無秩序の原因だ。一方に失業者があるかと思ふと他方では労働力不足で困つてゐる。また一方に農工産物があまつてゐるのに他方ではまるで飢饉の状態といふ工合に、バラ／＼になつてゐては永久に歐洲の平和はあり得ない。第三國からも常におびやかされる。だからまづ、経済的に歐洲を打つて一丸となし、歐洲各國間に關稅同盟式の通商契約を結びマークを基礎とする支拂關係をつくれれば歐洲は政治的にも一つの勢力となつて各國民の生活水準が一齊に向上すると同時に、他の第三國や他のブロックとも十分に對抗出来る。そしてまたこの歐洲の新經濟秩序の發展は、やがて物々交換によつて世界の各國民に新繁榮をもたらす。すなはち大戰以來眠つてゐた世界の貿易は金だの爲替だのといふ難かしい決済手段によらずに簡単な物々交換によつて新しい出發點に立つといふのだ。

渡邊 その歐洲の新經濟秩序といふのは具體的にはどういふ方法をとるのかね。

石山 具體的にはマークを歐洲の通貨標準とすること、關稅同盟式の協定を結ぶこと、そ

れからもちろんその指導的地位にはドイツが立つて開戦前後にドイツ國內で行ひ來つた經濟統制を歐洲全部に擴充するといふ原則が決つてゐるだけで、細目はフンク經濟相の手でシヤハト前經濟相らも一枚加はつて案を練つてゐるやうだね。

前田 新經濟秩序に對して民間の意見といふものはないかね。

石山 もちろん大いにあるよ。それが種々雑多を極めてゐるところがいまだ具體案が決定してゐないやうに見えるのだ。種々な意見のなかにまづ「歐洲各國は第三國との貿易のために一定額のマーク獲得の機會を與へられ、ドイツの國立銀行はこれを保證してその國の貨幣價值をマークとの一定比率のうへに責任をもつて維持する。しかし同時にその國の第三國との貿易はその貨幣價值を維持する必要からも當然ドイツによつて制限される」といふのがある。この説はやゝ具體的な點に觸れてゐる。また「歐洲の新秩序内ではしばらく清算制度あるひは求償制度がつゞけられるだらうが、殘高が如何なる方法によつても清算出来る場合にはこれは新秩序内の種々の施設のため有効に使用される。しかしこの清算制度や求償制度は自然に解消して

將來はこれ以上の制度が生れるだらう」といふものもある。これは少し判然としてゐる。また例の金の否定の問題にしても「經濟手段として完全に金を抹殺する」といふ説があるかと思ふと「第三國との決済には使つていゝ」といふ妥協的な説もあるといふ工合だ。新しい世界を建設しようといふのだからさうは簡単に具體案がでないのは當然であらう。

前田 金問題はそんなに簡單ではないと思ふ。結局歐洲ブロックとそれ以外のブロックとの間には最後に金による決済もあるわけで、こゝにドイツのいふ新經濟策にも十分に伸縮性があるやうに思はれる。すなはちこの伸縮性は金に對する新體制の挑戦の唯一の抜け道であり緩和劑としてこれによつて金に惱むアメリカとの妥協の途も開かれるのではないかと思ふ。

守山 簡單にいへば自由主義經濟を根本から否定し計畫的なナチスの國家資本主義の統制經濟が全歐洲的に擴大するわけだ。それは自由主義經濟の特徴である、各國民の全般的幸福を犠牲にして行はれた金の蓄集競争を根本から否定するところから出發する。ドイツの金否定の強硬論者にはせると金は地下から出て地下へ返つた。つまりトランスヴァールの地下から掘

出されてアメリカの銀行の地下室の金庫に返つてもはや永久に陽の目を見ないだらうといつてゐる。

前田 銀行の地下室ぢやないらしいよ。最近イタリアの雑誌にアメリカの金保管所の寫眞が出てゐたが、宛然要塞見たいな白い建物で何でも金の要塞といふ説明がついてゐた。

守山 さうか。それからドイツの經濟學者は金をこんな風にも譬へてゐる。これまで世界が憂身をやつした金の獲得競争はちやうど子供のおはじき遊戯の様なもので、誰れか一人がおはじきの石を全部あつめてしまふともうそれで勝負はお終ひだ。ヨーロッパはおはじき遊戯でアメリカに負けたんだからもう金なんか要らない。無限の勞働力が金の代りだ。金はナチスの國家の紋章である鷲の裝飾にするか金齒にするか以外途がないだらうなんていつてアメリカを脅かしてゐる。

石山 新計畫が成功するかどうかは、勿論第一には全歐洲に對するドイツの威信の程度、第二には占領地區その他に對するドイツの戦後の經濟處理が誤りなく行はれるかどうかの問

第三には歐洲以外の第三國、殊に歐洲と隣接する國との關係がどうなるかによつて決定されると思ふ。いはゆる歐洲經濟圏のうちバルカンとスカンヂナヴィヤの諸國についてソ聯との話合ひがうまく行くかどうか、また同じ歐洲の中でもイタリアの經濟的勢力範圍をどう決めるかの問題もいろいろあつてこのプランは簡單容易なものとは思はれない。金否定の問題も北米との通商關係上重要な問題だ。この金の問題は相互に妥協の途が残されてゐるやうだが、しかしこれもハッキリと相互の間に決定點を見出さなければ、いくら新歐洲經濟圏が萬一の場合の自給自足を企んでゐるとしても困ることには違ひない。しかし僕の感じでは、このドイツの新計畫は權力を持つた場合のドイツ人の組織的な才能から見ても差當り成功する可能性はあるだらう。

守山 フンク獨經濟相の演説では、原則としてイタリアと協力して歐洲の新經濟を獨伊が創造するといつてゐるが、マークがヨーロッパの標準通貨となり、ドイツの國立銀行がヨーロッパの中央銀行の役割を引受けるから、別に國際的には中央銀行を新設する必要もないとい

ふ風なことを演説してゐて、萬事ドイツ中心でイタリアの經濟の存在が忘れられてゐるやうな印象を受けるがその點どうかね。

前田 そんなことはなからう。イタリア財界の大御所ヴォルベ伯が七月末にベルリンを訪問してフンク經濟相をはじめドイツ首脳部と十分に打合せをとげたはずだし、從來の獨伊間の政治的、軍事的、經濟的諒解から見ても樞軸經濟が新ヨーロッパの經濟的樞軸にもなると思ふ。つまりドイツの國立銀行たるライヒスバンクとイタリアの國立銀行たるバンカ・チタリヤが、新ヨーロッパの經濟的樞軸の兩端となるだらう。バルカンから地中海にかけてのイタリア勢力を除外してヨーロッパ全體としての自給自足は成立しない。

河野 獨伊自體がそれ／＼自國內で農工の調和的發展を希望すると同様、新體制下に含まれる各國も各々の國に適當して農工業の發展を希望することは當然で、すでに各國は獨伊がこれらの點についてどんな考へ方をしてゐるか知つたがつてゐる。したがつてこの戰爭の終了後には、ヴェルサイユ會議のやうな政治的協和會議は招集されさうにはないが、新體制の經濟交

通關係を協議する大經濟會議招集の噂がある。またこの經濟會議には日本、ソ聯、アメリカなど歐洲新體制以外の主要國家も招集され協力方法について協議する機會がありさうだ。

守山 金本位制が没落して管理通貨などが生れることは金の威力に對する法統の反逆だが、今後ドイツは歐洲の新經濟圏から金を全面的に縮出さうとしてゐる。通貨の基礎は、健全な歐洲の經濟と歐洲各國からの理想的な勞働分配によつて規定されるから何も金のご厄介になる必要はないといつてゐる。これは早くから持たざる國ドイツで行はれてゐた制度で、こんどはそれを歐洲をはじめ世界全般におよぼさうといふのだ。求償制度あるひは清算制度が徹底して行はれれば決済手段としての金はたしかに不必要のものになつて來るだらう。經濟が政治を支配した時代から再び逆轉して來たわけで、ドイツがもくろむ歐洲の新經濟秩序が確立されれば、經濟手段としての金は歐洲からは完全に抹殺されるであらう。また日滿支三國經濟プロツクを中心とする東亞、並に歐洲との通商關係も清算制度でやつて行けると思ふ。たゞ問題なのは依然獨と米の關係だ。しかしフンク經濟相が「金が支拂殘高の整理のため一番よい方法で

あるかどうかはまた別問題だ」といつてゐるところからみると、さつき前田君がいつたやうに兩者の間にならずしも妥協の途がないわけでもなささうだね。

守山 妥協の途は大ありだ。僕は戦後に來るものは獨米の經濟的接近だと思ふ。アメリカの新大陸とヨーロッパの新大陸がやむにやまれぬ經濟上の關係から互ひに提携する可能性は大にある。アメリカ人がいつまでも人道主義の保護者ではあり得ない。結局西洋人同士だからね。日本はさうした事態を大いに警戒しないといけないね。どうだらう。

石山 僕は大体行くだらうと思ふ。日本の對歐洲貿易は戰爭直前大分好調子に進んでゐたやうだが、しかしもとく日本は歐洲貿易には主眼を置いてゐなかつた。最近軍需關係の輸入で日本は歐洲に對して相當に支拂勘定になつてゐるはずだ。これが物々交換で行はれば日本にとつても不利なことはないと思ふ。ことに各國各分離してゐたときよりもドイツを盟主とする全歐洲と日本を中心とする日滿支三國との間には交換面も廣くなり交換すべき品物の量も多くなつて貿易額は擴大するだらう。金を決済手段に使はないことも日本にとつて悪いこ

とではないと思ふね。しかし日本はドイツとの間に早く、しかして新しく経済的提携の手を打つことが何よりも先決条件だ。

世界の顔は變る 大、小國の轉變、興亡

守山 つぎにこの新歐洲は政治的にあるひは軍事的に見てどうなるかといふ問題については、ドイツ官邊からはいまだ何らの公の發表も演説もない。たゞ新聞や雑誌に現れた論説などから見てつぎのやうなことがいへると思ふ。第一に政治的には弱小中立國の整理時代が来る。これは必ずしも國が潰れたり獨立が脅かされたりする事を意味しないが、從來のやうに弱小國家の辭に國策が右往左往して歐洲不安の原因をなすやうなことは許さない。強力なる大國に隣接する諸國は政治的、經濟的、地理的のあらゆる見地から、その大國の指導において行動すべきだといふのだ。ソ芬戰爭のときにフィンランドの遣り方が間違つてゐるとドイツが聲明したのもこの原則から出發したものだ。第二に軍事的には各小國がそれ々の財政を無視してまで軍擴競争に熱中するのは愚かなことだ。將來の歐洲の國防はドイツとイタリヤとで引受けてやるから小國は安心して各自の業務に勵めといつた調子が見える。要するに歐洲の小國は經濟的に見てそれ々の輸出入をドイツが加減して指導するであらうといはれるのと同様に、すべての小國が政治的には強力な獨伊の影響力の中に包含され、その外交も、その軍事もペルリンとローマの指導者のまゝに動くといふ時代が来るやうに思はれる。實力なき小さな獨立國といふものが力の前にいかにはかない存在であるかはバルチック諸國の運命あるひはバルカシ諸國の動搖により分る。群小國家の事實上の滅亡といふことは今度の歐洲戰爭がもたらした最大現象だ。

石山 強國がそれ々のプロツクを率ゐて對立するといふのが次に來る新しい世界の歴史だ。ところでドイツの占領地は將來どうなるかの問題だが二、三日前にヒットラー總統はポー

ランドのドイツ占領地帯を正式に大ドイツ國家に併合してしまつた。將來の平和會議でもポーランドの復活はもう豫想されない。オランダ、ベルギーはどうなるのか。人種的に見て興味あるところだが、女王様がいまだに逃げてゐるオランダの完全なる獨立は望み得ないやうだ。

河野 しかし豊富な蘭領植民地統治の技術上の問題で海軍力をもたないドイツはオランダ政府を認めるといふことも考へられるね。

守山 ベルギーは二つに分割されるのぢやないか。ウアロンといふラテン系の國民とフランマンといふゲルマン系の國民とが絶えず國內で對立し、固有の民族をもたず、固有の母國語ももたない、あゝいふ國が存在するといふことは封建時代の區畫整理の名残りといつた感じがして新時代のものではない。當然今度の戦争の後で清算されるであらう。

渡邊 パリからこゝへ来る途中ブラッセルに寄つて見たが、ベルギー王官はドイツ軍が占領、その屋根の上にナチの旗が翻つてゐた。ところでパリの大統領官邸はドイツ軍はわざと手を着けずベタン元帥が歸つて来るのを待つてゐる。もちろんナチの旗も樹つてゐない。フ

ランスの近衛兵が番をしてゐる。ドイツ軍部の意を承けて出してゐるパリのフランス新聞は毎日ベタン歸れといふ論説を書いてゐる。この二つのことを比べて見るにドイツはベルギーを何とかしてしまふのではないかといふ氣がする。ときにフランスをドイツはどうするつもりなのか？

守山 僕は知らんよ。しかしドイツだつてさう無茶なことはすまい。もちろん今後フランス人は再軍備なんかといふことは口にも出せない状態におかれる。領土的には植民地は失つても本國がこつそり削り取られるやうなことはなからう。各國をいかに經濟的に更生せしめ新體制に協力させるか、それにはどんな政治形態を與へるのが最善かといふことがドイツの占領地に對する根本方針だと思ふ。

前田 フランスはずつと小さくなるんぢやないか、ことによると大西洋岸の占領區域をドイツはそのまま併合することになるんぢやないかな、イタリアではその意見が有力だよ。

渡邊 フランスの植民地はあるひは大部分取り上げるかも知れぬが、フランス本國はそん

なに小さくしないものとフランスでは考へてゐる。これ以上いじめなければならぬほど復興力は強くなく新歐洲體制において農業的にフランスを利用せんとするドイツはフランスのもつ農業的經濟力を廢棄したくないであらう。フランスに來てゐるドイツ軍の態度をみてもドイツにゐたフランス人を手なづけようと努力してゐるところが明らかだ。またドイツ軍當局は親英主義者に誤られ政府に見捨てられたフランス民衆のことを宣傳してゐる。ドイツの宣傳の方針はその眞意を知らせようとする努力であり、人をだます嘘方便ではないやうである。

守山 こんどはイギリス本國はどうなるといふ問題だ。イギリス政府がこのまゝまゐつてしまつた場合、海外へ逃げ出した場合もさらに講和が成立した場合も現状から推せばイギリス本國といふものは従來のやうに世界の通商の中心地たる地位から轉落し新體制に協力させられると思ふが……

河野 イギリスの島國はオランダ、ベルギーと同様の地位に立つて新體制に吸收されるだらう。ことにゴルフコースやウイスキーはそのまゝ残りこの島國は新歐洲の娛樂地域として休

暇を楽しむ連中の天國となるのではないか。

渡邊 もつと近いパリを中心のフランスの方が便利だらう。イギリス本國は牧場にされるだらう。寒くて畑として役に立たないから。

石山 娛樂地ばかりでもないだらう。鐵、石炭の埋藏量、各種重工業技術、紡績を中心とする輕工業技術など、利用すべき澤山なものイギリス本國は持つてゐるから、それらをドイツはできるだけ新歐洲經濟のため利用するだらうと思ふ。

前田 この間ドイツのフェルキツシャー・ベオバハター紙にイギリスをヨーロッパ大陸から閉め出すんだといふ強硬論が出てゐたが、それは舊來のイギリスの對大陸優越權を否定するといふ政治的意味をもつもので、これは必然にイギリス本國の二流もしくは三流國家への没落、イギリス帝國の瓦解を招來することを意味する。しかしイギリス本國そのものは新體制に協力する地域の一部として獨立性を與へるのではないかとイタリアでは見てゐる。しかし石山君がいつたやうに新經濟機構の一部として、例へばランカシャのごとき平和産業は大いに新ヨ

ローツパのため利用すべきだといふ意見がある。それからバルカン地方は……

河野 バルカン諸國はドイツの政治的勢力の下におかれて新體制に包含される。すなはち中歐に位するハンガリーはトランシルヴァニアの失地の大部分を回復して獨伊兩勢力の緩衝地帯となり同時にそれに對しては天嶮カルパチヤ山脈に據つて赤化勢力の侵入を阻む防壁となるであらう。政治勢力はルーマニヤ、ブルガリヤがドイツの下に、またユーゴ・スラヴィヤ、ギリシヤがイタリヤの勢力圏内におかれる。ブルガリヤはドブルジャその他失地を回復し、ハンガリーとともにヴェルサイユ體制打破の年來の宿望を達成するであらうし、ユーゴ・スラヴィヤはダルマチヤ海岸をイタリヤに割譲するほかセルヴィヤ、クロアチヤ、スロヴェンの三民族に分割される危険が濃厚で、いづれにするもユーゴの現勢は重大變更を受けるであらう。大觀してバルカンの將來はトルコを除き獨伊の勢力範圍に入ることは明らかでソ聯の進出は世上噂されてゐるほどには實現性はないらしい。

渡邊

ところでイギリスの植民地であるドミニオンの戦後の歸趨、ことに近東からインド

にかけての新事態は戦後處理の問題でももつとも重要なものと思はれるが……

河野

ドイツはイギリスが早く降参すれば今後もある程度英帝國を認めて行くが、イギリスが執拗な抵抗をする場合英帝國を打倒する方針のやうに思はれる。この場合においてたいい自治領は獨立してゆくやうに思はれる。まづ南阿聯邦が獨立の可能性が多い。オーストラリヤこれにつき、カナダとインドは多少事情が違ふのではないか。インドは經濟的にはもちろん獨立し得るが軍事的に外國勢力を撃退する力はインド自體もつてゐない。そこで日本にとつても面倒な問題が起りはせぬだらうか。獨、伊、ソ聯、米の四大國いづれもこれを狙つてゐる。イギリスが案外簡單に折れて來る場合、インドとイギリスとの現在の關係を過渡的に承認しソ聯、日本との紛糾をさけるといふ可能性もある。カナダはイギリス艦隊の一部と政府の一部が逃げて來る第一の場所だが、簡單にイギリスが降参するときは、現在のイギリスがカナダに移動する結果となり、また徹底的に交戦して負けた場合はカナダも他の自治領のやうに獨立して行くであらう。

石山 僕が昨年實地に歩いて見た經驗では、インドが原料供給國以上のものでなかつたのは大戦以前のことで今は工業的にも相當立派な組織をもつてゐる。むしろ一部では工業的にイギリス本國と對立してゐたくらゐる。こんなわけで經濟的には自立することのできる國だがしかし政治的にはほとんど獨立する能力のない國だと思ふ。世界一にメンバーが多いといふ國民會議派などもインドの全人口に較べれば一パーセントに足りない有様だ。だから戦後世界の寶庫たるインドを支配する新しい主人は誰かといふことが問題となつて來る。

前田 インドは紅海からインド洋に顔を出すイタリヤと、バルカンを制覇して東に向ふドイツと、東南に延びようとするソ聯の三國の競争地域になるとも考へられる。

守山 獨伊ではソ聯の勢力を歐洲から方向を轉換させて近東からインドの方に流すやうにさせるんだといふことが公式論のやうにいはれてゐるが、近東からインドを支配した強大なソ聯を考へると餘りいゝ氣持はしない。これはやつぱり將來に残された大きな問題だ。しかしインドよりもつと手近な問題に近東問題がある。たとへばこの間開通したバグダッド鐵道など

ドイツが心血を注いでやつと完成したものが、さうした權益をドイツはなんらかの形で確保する手段に出るだらうとは想像される。バルカンでは獨伊ソ三國の間に諒解ができてゐるが、近東においてははまだ勢力範圍の協定がついてゐない。

渡邊 バグダッド鐵道は最近モスール附近の聯絡が完成したが、本社の「神風」號の地上勤務で行つた歸途、この鐵道に乗つたが、シリヤからトルコへ出るタウルス山脈の工事は萬里の長城よりも大工事のやうな氣がする。朝鮮の金剛山を遙に大規模にした岩山だ。晝で見ると蜀の棧道のやうな難工事、それが全くドイツ人の技術と努力の結晶なのだ。だから戦争に勝つたドイツはいかなる第三國にも渡さないだらうといふ氣がするね。

油断ならぬソ聯 勢力大擴張は必至

守山 過去數年の國際的な波瀾は日本の躍進とドイツの再軍備を二つの中心として起つたが、今後數年間の國際情勢はソ聯がどう動くか、各國がこれをどう見るかといふことが少くとも一つの中心にはなると思ふ。殊に日本にとつてこれは重大問題だ。われ／＼はさきにソ聯は歐洲新體制に差當り消極的に協力せざるを得ないだらうといふ結論を簡單に出したが、これをもう少し吟味したい。ドイツはソ聯關係の言論は目下非常に慎重ならざるを得ないが獨ソの表面的な提携はこゝ當分は現状を維持するだらうと思はれる。ヒットラー總統は再び戰爭の起らない歐洲をつくるために向ふ十年間仲直りしようとしてスターリンに手を差出した。スターリンは「よからう」といつてその手を握り返した。これが獨ソ關係の大筋だ。英獨戰爭が終つて直に

獨ソ戰爭がはじまるやうなら獨裁國家の信用といふものは世界的に零になつてしまふ。そのときこそ全歐の没落を意味し漁夫の利を占めるのが日本とアメリカだからのことだ。誰でもよく知つてゐる。獨ソ不侵略條約の十年間といふ期限は好いところをいつてゐると思ふ。ただ獨伊兩國には戦後處理、新體制樹立といふ仕事が十分にあるが、力があまりすぎて困つてゐるのがソ聯だから、ソ聯は當然動き出した。しかしその進出はあくまで歐洲新體制との摩擦をさけるであらうと考へられる。

前田 スターリンは馬鹿ぢやない。ヨーロッパ新體制の確立には相當の時日を要するものと見、それまでの間に、歐洲戰爭の混亂を利用して各方面に對獨前進基地もしくは防禦線を保つておかうといふ腹算なのだらうと思はれる。しかしドイツが英國をおさへても、その後でさうすぐに方向を轉じて東に進むことはあるまいと、イタリヤでは見てゐるね。

河野 僕が歩いて來たバルカン方面ではつぎのやうに見てゐる。昨年五月リトヴィノフが外相をやめたときから、ソ聯外交は表面的にも現實外交の色を濃厚にして來た。民主主義自

由主義と協力して世界的フアツシヨの趨勢に對抗しようとする、第七回コミンテルン大會の方針は再び放棄されて八月には獨ソ不侵略條約となつた。ソ聯としてはドイツの如き苦手の強國を敵方に廻しておくことに危険を感じてこれと協力することによつてこの苦手國を英佛に向けることに成功した。しかしフランスがあまりに脆く敗けたのでドイツは對英攻略後方向を轉じて東方に進出することを豫想して置かねばならなくなつたのである。ルーマニヤのブコヴイナへの進出で獨伊樞軸の氣持を幾分悪くしたといはれるが、大筋としての獨ソ協力の形式にはなほ變更ないので、ソ聯としては新體制に對して當分消極的協力の態度をとり、自國の生産能力擴充、交通整備、赤軍裝備改善に必要な物資の供給を求め、これに對し原料農産物を提供する態度をつゞけるだらう。

前田 ソ聯は長期戦による歐洲混亂を狙つたといはれるが、共產主義はまづ英佛の自由主義的資本主義打破を第一の目的として獨伊に協力し、つきに出来れば全體主義的資本主義を崩にしようとし、これがために今攻撃かつ防禦的捨石を打つてゐると見てもよいのではないか。

獨伊としてはもちろんこのソ聯の希望を知つてゐるし、對英作戦を進めると同時にソ聯の行くべき途を歐洲から方向を轉換させようとしてゐるやうにも見える。

渡邊 ソ聯は時と場合に應じていろ／＼な手を用ひることだらう。ドイツが新體制をもつてがつちり秩序を維持してゐる間は、ソ聯は積極的にドイツと協力すると見る。しかし歐洲新體制に不満足な國がもし出来るとすれば共產黨はこれに乗じて働きかけるくらゐはやるだらう。フランスの今度の大敗北を反面から考へて、共產主義の資本主義に對する勝利とも見られるのだ。赤化してゐたフランス小學教員による敗戦主義教育が重大影響があつたことを考へると、將來ドイツがフランス統治の手をゆるめるやうなことがあれば、共產黨は眞先にフランスをよき畑として赤い種を蒔く危険があるやうだね。

河野 その共產主義と新體制の關係だがネ、ソ聯としては共產主義宣傳に乗出すことが、ドイツの現状を維持しまたバルカンに進出する適當なる手段でないことを知つてゐる。したがつてドイツが對英攻略で多忙な期間を捉へ、大體舊帝政ロシアの領土を回復し、これに隣接す

る同族スラヴ民族國家への親善をはかる工作をやつてゐる。ブルガリヤ、ユーゴ・スラヴィヤに對する帝政時代の汎スラヴ主義政策同様、民族的感情をこれらの兩國に植付けんとしてゐるわけだ。しかしその成功は目下の情勢ではむつかしい。ブルガリヤは目下完全にドイツの政治經濟勢力下にあり、ユーゴもまた伊國を恐れるの餘りソ聯との國交回復を實現したものゝ獨伊に挟まれ身動きならぬといつた實情にある。かくて獨伊の對英攻略が短期間に成功する以上ソ聯は現在以上にバルカンに進出することは不可能で、結局近東、インド、フィンランド方面に進出の方向を狙つてゐる。

前田 フィンランド問題についてはソ聯はオーランド島の解決だけでは満足しない、いはばフィンランドはソ聯の失地だからネ。

石山 ソ聯は近く近東ルートからペルシヤ灣の方向に向つて南下すると僕は思つてゐる。しかしいづれにしても日本は差當つてはソ聯と事を構へる何らの必要もない。この際ソ聯と政治的に協定するといふ大きな手を打つべきときではないだらうか。

文藝の動向を測定

ドイツ文化の歐洲制覇

守山 それでは、最後に日本と歐洲新體制との關係を論ずる前に、歐洲人の文化生活あるひは藝術は新體制の下でどんな形をとるかといふ點に觸れておきたい。

渡邊 この前の大戦後の新傾向は多く戰敗國たるドイツから起つてゐる。戦争による破壊、その破壊から起る絶望によつて生れた沈んだイズムが、こんどの新歐洲全體としては勃興の機運が盛んにあるのみならず、満足國としてのドイツは反抗心、反動精神は失はれて鷹揚な國民となり、それにふさはしい新文化が歐洲全體に興るかも知れぬ。もつともこれは歐洲新秩序が完成しドイツ的經營が實を結んだ後の話である。

河野 ヨーロッパ全體としては各國民の生活程度は新體制で向上するだらう。獨伊の原則

を全ヨーロッパに適用すれば、金持が抑へられて労働者のみの幸福が得られるといふわけだから……

渡邊 フランスだけのことを論ずれば新體制では文學は當分見込はないやうだ。まあいまのところ文運が盛になるとは思はれない、尤も御用文學は興るだらうが……

前田 ヨーロッパ全般の藝術界は二つの傾向に分れると思ふ。第一は新體制生活から生れる新藝術であり第二は舊思想の逃避的藝術だ。イタリヤだけについていへば、昨年九月以後だけでも詩や建築に未來派といつたやうなものが續出してゐるやうだ。

守山 ヨーロッパのユダヤ人によつて代表された自由主義藝術は全部アメリカに避難することも考へられる。

河野 最近バルカン諸國ではドイツ語が從來のフランス語にとつて代つてドイツ語が第一外國語になりつゝある。ルーマニヤの首都ブカレストの映畫館における各國のニュース映畫の上映率の變化が面白い。フランスが降伏するまでは、アメリカものが六〇%で第一、次はフラ

ンスものが三〇%、ドイツものは僅かに一〇%だつた。ところがフランスが降伏してからはもちろんフランスものは入らず、ドイツものが六〇%で第一となり、アメリカものが四〇%に減つたといふ。ドイツのニュース映畫は英佛ものに比べて兵隊のカメラマンが撮つたのだから眞に迫つてゐるので大喝采だ。また本屋でも今ごろでは外國書籍の三分の二まではドイツ語の書物が並んでゐる。このやうにして文化戦線でもドイツのヨーロッパ制覇事業は着々として進んでゐる。

守山 その半面にドイツ人の外國語研究熱が旺盛なものには驚いた。最近ベルリンで二、三ヶ所も植民地の土人の言葉を教へる學校が開校したが、是らはカメルーンや東南アフリカなど舊ドイツ植民地がやがてドイツ領になるのを豫想して今から進出の用意をやつてゐるわけだ。そのアフリカ語學校では五十歳以上の老人や若い娘子供までが机を並べて勉強してゐるからちよつと感心させられる。

渡邊 ドイツ人の外國語研究は徹底してゐるネ。本格的に科學的にその國の言葉から勉強

してかゝる。ベルリンに来て日本語の上手な官吏が多いのに驚いた。戦線で會つたドイツ將校でフランス語を話さぬものは少いから中にはフランス人よりうまいものもある。こんなのが第五部隊として活躍するのだらう。ドイツ軍人のフランス語の嗜みはフレデリック大王以來の傳統であらう。

積極的外交策を實行せよ 機會を逸するな

守山 それでは最後に、ヨーロッパ新體制と日本との關係。この未曾有の世界の動亂期に際して日本は如何なる進路をとるべきかといふ點について、われ々が歐洲戦争の渦中にあつて體驗した率直な印象を語りあひ、この座談會を終りたい。

前田 來るべき世界制覇は獨伊、ソ聯、日本、アメリカの四つの勢力範圍がいかにバラ

ンス・オヴ・パワーを形成するか、その成否の如何にかゝつてゐる。そしてこの四大勢力がどう結びつくかといへば、日本の立場から見ると獨伊勢力樞軸と協力すべきだといふことはもう何人も異論のないところだと思ふ。一體民主主義思想と金力によつて、世界をその掌中に收めたかの如く振舞つて來たイギリスに對して、最初の反抗の氣勢をあげたのは滿洲問題を契機として新しいスタートを切つた日本ぢやなかつたか。その後イタリヤがエチオピア遠征でこれにつきそしていまやドイツが協力してヨーロッパにおけるイギリスの横暴に對して最後の止めを刺さうとしてゐるのだ。従つて日本が目論む東亞新秩序と獨伊が建設せんとするヨーロッパ新體制とは發生的にも本質的にもその揆を一つにしてゐる。殊に支那事變處理、自給自足經濟政策の確立といふ點から見てもその必要が一層痛感される譯で、獨伊の對英協力が加速度的となつた今日、逡巡すればそれだけ世界の新體制に即應すべき日本の地位が薄弱になる恐れさへある。

河野 何んでもドイツは蘭印に派遣する經濟委員團をオランダで編成準備中といふぢやないか、海軍力を持たないドイツが果して、さういふ蘭印の機構建直しを現在實行し得るかどう

かは疑問だが、歐洲戦争が急速に終りをつけた場合に現状のまゝで行けばドイツは蘭印統治のイニシアチヴをとるだらう。その時ではもう遅い。

守山 日獨關係はいま非常に重要なモメントのうへに立つてゐる。簡単にいへば白紙の状態に還つたまゝ、風も吹かずにじつとしてゐるのだ。このまゝほうつておいては大變なことになる。ことに獨英停戦協定でも出来れば日本は眼もあてられないだらう。孤立日本は決して最善の策ではない。對英攻撃の結果を見てから日本の態度を決定するんではいよ／＼難しくなる。肝腎なことは對獨伊政策に具體的な手を打つことだ。佛印や蘭印當局との交渉はそれからであることを考へなければならぬ。問題の根本たる日獨關係が白紙のまゝでは埒はあかないだらう。

河野 さうだ。日本は現在獨伊と深い聯絡なくして對英強硬外交をやつてゐるやうだ。對英強硬外交を行ふなら十分に獨伊と話し合つたうへで行ふのが得策だ。英米との關係を悪化させるだけで、他面獨伊との關係を緊密にする措置をとらぬのは手落ではないかといふ感じ

がする。日本は速かに自分の態度を決定して、獨伊關係を強化する外交の手を打つことが絶対に必要だと思ふ。

渡邊 ドイツの從來のいひ分からすれば、生命線擁護のために日本が南洋へ進出するのに文句のつけようはないわけだ。もちろんドイツは蘭印のゴムや鉛はほしいであらうし、それは日本を通じての取引でなければならぬ。さうでなければ日本を盟主としての東亞新秩序の意義をなさない。從來のイギリスがドイツ勢力に置替へられただけでは世界新秩序も、最初から紛争の種を胚胎してゐるものといはなければならぬ。他の白人に代つてあの邊の番兵のつもりでわたイギリスは落目になつたが、こんどは白人代表のアメリカがにらんでゐるから、日本は當然の生命線でも今のところ蘭印に手はつけられぬだらうといふのがヨーロッパ人の考へ方のやうだ。つまり日本に南洋武力的進出の決意なしといふのがヨーロッパ人の定評のやうだ。

守山 ヨーロッパ人の對日本觀は底を割つて見ればそんなところだ。戦争には強いんだがどうもやり方がまづいといふ。内閣が半年に一べんづつ變るところを見ると支那事變に手を焼

いてゐるやうな印象をこつちの連中は持たされる。この際何とかして日本にも外交ありといふことを世界に示す必要がある。それには四十三對一の松岡外相にヨーロッパへ飛んで来てもらひたい。東京、ベルリン間一萬五千キロは遠いやうだが國産の飛行機でたつた九十四時間そこそこだ。そしてヒットラーと膝詰談判をやつてもらひたい。そしてはつきり南洋が日本の一億國民にとり死活問題たることを徹底せしめるのだ。日獨伊の間に世界新秩序ともいふべき廣汎の申合せをつけるのだ。

前田 日本の將來における生命線の發展方面から考へて見ると、まづ對ソ關係の調整が重要で、それは獨伊樞軸との協力を實現するためには重要な役割を演ずる因子になるだらうと思ふ。かういふと恐米論者や對米經濟關係を重視する人々は直に反對するであらう。自由主義時代ならいざ知らず、今日となつては政治關係の確實な基礎を持たない經濟關係は風前の灯みたいなものである。

石山 日本の國策の遅々として進まないのは根本に對米問題があるからだらう。日本はど

うも米國を氣にし過ぎるやうに思ふ。氣にしてもしなくても向ふが同じ方向に進んで來るのなら、なまじ神經を使はずに抛つておいた方がいゝ。さんざお世辭を使つた揚句馬鹿にされたんではやり切れないからね。

河野 媚態外交は清算すべきだね。今後は殊更關係を悪化させる必要はないが、毅然として日本の主張を堅持し、米國の態度が變つて來るのを待つの外ならう。日本海軍の西太平洋における實力が今日程ものを言ひ、またものを言はせなければならぬ時はないので、米國を恐れ過ぎて國策の推進を逡巡することは禁物だ。

前田 滿洲國の地位が相當固まつて來てゐる今日、日本がソ聯と地理的に接近してをりながら永遠に敵對的關係を持続せねばならぬ理由はないのではないか。少くとも僕は日ソ關係と對獨伊樞軸關係とは技術的に相並行して固められて行き得るものだと思ふがどうか。

渡邊 アメリカと戰爭するかしないかは別として、兎に角アメリカを向ふに廻し萬一の場合日米貿易は犠牲にする積りでやるならどうしてもソ聯との關係をよくせねばならぬ。ソ聯と

も喧嘩、アメリカとも喧嘩といふのは痛快かも知れぬが、實際問題としてまづいやり方だ。といつてソ聯の御機嫌を取る必要はない。ソ聯だつてこの戦國時代においてヨーロッパ本國を守るのが第一だから極東にまで事を構へたくないであらう。日本もそこでソ聯と諒解を遂げる必要があり、その可能性もあるだらう。

守山 日ソ衝突は現在の日ソ關係ではいつまた起らないとも限らない。毎年かういふことを繰返して、東洋平和のため國境で戦死した兵士たちに報いることのないのは少くとも爲政者の反省すべき點だ。大地域にわたる支那事變處理は刻下日本の最大の問題だが、その解決にしても、支那の民衆農民を舞臺として日本の政治はソウエート政治に打勝たなければならぬ。この勝負に勝たなければ本當に支那人を日本にひきつけることはできないと僕は思ふのだ。もちろん、日ソの諒解は紙の上だけで總ては解決したと考へると危険だが、ないよりはあつた方がよい。むしろ世界新體制に即應する意味で日本の打つべき第一の手は日ソ國交調整、第二に日獨伊との新體制條約締結、第三に南進論の具體化が來るべきだと考へる。

河野 われ／＼がヨーロッパから眺めた場合支那事變處理だけを世界の情勢から切離して獨立に取扱へないことは今日の實情が證明してゐる。新世界情勢に應じた東亞政策の一環として取扱ふべきだ。また支那自體に對してはその面積、人口、文化に應じた對策を樹つべきで殊に占領地域に對する日本の把握力を一層強化すべきだ。

前田 贊成だ。支那事變は日支間のみの直接問題で他國の容喙を許さないのは原則上當然であるが、それだからといつてこの事變の解決技術にまでこれを適用することは考へものだと思ふ。今日いづれの政治問題にしても、多少とも國際的關聯性を持たないものはないのだから、その原則論を動かさぬ範圍で、技術的にもいまま少し伸縮性を持たす必要がありはせぬか。外交といふものはもつと融通が利いて臨機應變の處理が出来るやうにならないといけなと思ふ。

渡邊 日本がもしソ聯と妥協すれば、イギリスはもう極東にまで手が伸びないのだから、蔣介石は四川省の山奥で當分そつとして固めて置いてこの際南進の方を何とかせねばならぬ。

二兎を追ふなといふことは結構だが支那問題を完全に結果づけなければ他に機會はあつても手が出せぬといふ意味であるまい。蔣介石などは四川省の埒に入れて置けば一應處理したことになるはしないだらうか。

守山 こゝでわれ／＼の結論を綜合すると、日本と獨伊樞軸との間に一層の諒解が絶対に必要といふこと、日本はアメリカを恐れすぎるといふこと、この好機を逸しては南進論の具體化の機會なしといふことだ。

渡邊 どうだお互ひにまだいひたいことがうんと残つてゐるね。

一同 日本の國內の現情に對してはいひたいことは山ほどあるよ。

守山 それをいはなくとも済むやうになることを待望しつゝこの座談會を終らう。(完)

昭和十五年九月十五日印刷
昭和十五年九月二十日發行

「新歐洲の黎明を語る」

定價二十五錢

不許複製

編輯者

大阪市北區中之島三丁目三番地
株式會社 朝日新聞社

樋口正徳

印刷者

大阪市浪速區芦原町一八八ノ五
日本印刷製本株式會社

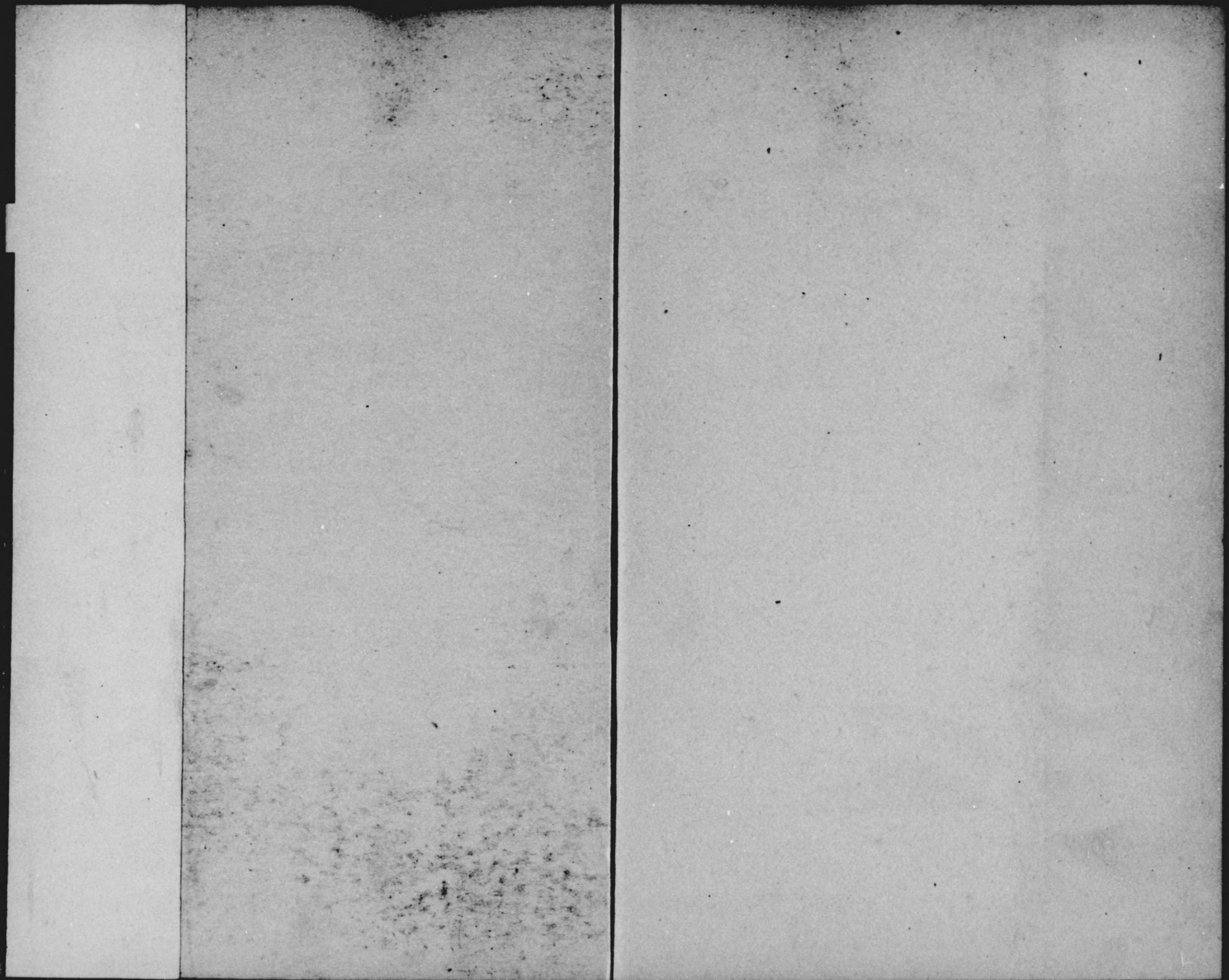
堀越儀郎

發行所

大阪市北區中之島三丁目三番地
株式會社

朝日新聞社





302.3
A82



